

WILD ROVER CREW
DOSHISHA
UNIVERSITY
BOAT CLUB

YEAR BOOK 2011



力漕

vol. 19

同志社大学
体育会ボート部
2011年度部報



目次

本号より、『力漕』はフルリニューアルされました。
皆さまに同志社ボート部の「今」を伝えられるよう、
『力漕』も、部員と共に成長していきます。

・「力漕」刊行に寄せて	3
・決意表明	6
・ボート部の一日	11
・現役特集	13
・同志社艇友会員インタビュー	19
・2011年の戦績	23
・エルゴ 2000mT.T ベスト表／年間スケジュール	25
・マネージャー役職紹介	26
・卒業生の言葉	27
・艇友会コーナー	31
・他大学寄稿	33
・巻末 戰績データベース	35
・編集後記	38



『力漕』の刊行に寄せて



部长
岡本 博公

『力漕』の刊行に際し、日頃からボート部にご支援いただいている艇友会の皆様に、誌上を借りてではあります、心からお礼申し上げます。このなかにいきいきと表現されている現役部員の活躍が皆様にとっていろいろな意味で刺激になることを祈念します。また、この誌上を通じてボート部員と諸先輩の交流が深まれば大変嬉しいことです。

さて、この2年間商学部長を兼任し、学生やご父母の前でいろいろ話す機会がありましたが、その際によく語ったのは、「成長を実感する」ことの大切さ、ということでした。その意味は以下のようなことと考えています。つまり、学生自身が、できた、伸びた、変わったなど、自らの成長を実感することができれば、そのことがばねになって彼や彼女の新たな挑戦を生み出すことができる、そして、かつて成長できたという彼や彼女自身の確信が、新たな課題への粘り強い取り組みを可能にし、再び成果を挙げる、そしてさらなる成長が実現する、とこういう好循環が生じると思うのです。つまり、実感が挑戦を生み、自信を確信に変えていく、とこういうわけです。逆のことを考えればよくわかるでしょうが、何がなんだかよくわからない、だから面白くない、やる気が出ない、といったしばしば陥りがちな悪循環と対照する

れば、成長の好循環が切り開く素敵な世界は明らかでしょう。

教育は、当然のことですが、学生の成長を企図しています。そして、実際に学生も日々成長しているはずです。だが、残念ながら大学教育では、いくつか理由があるでしょうが、学生に自らの成長を実感させるという点で、すこし弱いところがある、と私は思っています。成長を明確にする作業は、必ずしも容易ではありませんし、大学の講義は意図的にその仕組みを内包したものにはなっておりません。

ところが、課外体育活動は、この成長の実感にきわめて効果的なプログラムである、とこう思います。体育会の活動では、学生自身の日々の鍛錬が厳しく要求され、その結果、かつてこの誌上で紹介したように「練習は不可能を可能に」します。この結果、体育会での活動は、学生が、自らの成長を鮮やかに実感できるもの、あるいは実感しやすいものだといえましょう。この成長の実感こそ体育会活動の妙味であり、成長の好循環の源であり、大げさに言えば生きる力を生み出すものでしょう。だからこそ体育会が大学教育のひとつ重要な柱なんだと、最近このように私は思っています。ボート部の活動によって、学生が成長を実感し、成長の好循環を実現してくれることを願っています。

ボート競技を現場で見て、一喜一憂の私の生活が終わりました。長期間に渡る先輩、後輩、ご父兄及びボート関係者の皆様からのご支援に、改めて御礼申し上げます。

十分な指導が出来ず、学生時代に「勝つ喜び」を体験させられなった卒業部員には、お詫びいたします。学生時代の悔しい思いを、社会人での礎として頑張ってください。また、学生スポーツで苦楽を共にした仲間を、大切にしてください。

現役の皆さんには、まず部員数を増やし、部内から

競争の原理が働くようにしてください。経験者の有無以上に、部員数に比例して、大学スポーツの活力が生まれると考えます。

私自身も、8年間の監督経験で色々なことがあります。戦績的には残念で、皆様の応援を裏切る形となり申し訳が立ちません。ただ、振り返ると現役の若い学生とのボートを通じての時間は楽しいものでした。今後も、現場の気持ちが理解できるOBとして練習やレースを見に行きたいと思います。皆様、ありがとうございました。



前コーチ
瀬川 敏己

新春の候、現役部員並びにOB・OGの皆様、いかがお過ごしでしょうか。私は昨年秋までの約2年の間、高橋毅前ヘッドコーチの元でコーチをさせて頂き、その節は皆様に大変お世話になりました。既にコーチという立場を退きましたので、このように『力漕』に文章を寄せるのは恐らくこれが最後になるかと思いますが、現役部員達を陰ながらでも支援したい、応援したいという熱い気持ちに変わりはございません。一昨年前、高橋毅前ヘッドコーチよりお声掛け頂き、コーチの役をお引き受け致しました。しかし、自身の業務の都合がなかなかつけられず、学生の指導に手が回らなかった部分もございました。私自身もマネジメント方面的のコーチとして、限られた条件下でいかに部に貢献するかを模索しておりましたが、自らと学生との距離をいかにとるのかといった点など、様々な心の葛藤があったことを告白させて頂くと共に、本来あるべきコーチとしての役割を十分に果たすことが出来ませんでした事をこの場をお借り致しまして深くお詫び申し上げます。そんな中でも、私の在任中に実現できたこともあります。特に、「新入生歓迎レガッタ」は今後も継続していくいただきたい取り組みです。これは新入生・現役・OB・OGがそれぞれの想いを語り合い、交流することができる貴重な場です。学生時代に熱心にボートに取り組んだ経験は、OB・OGの方々にとってかけがえのない人生の財産になっています。ますます厳しさを増す時代の中で、そういったOB・OGだからこそ新入生に伝えられることがあると思います。

さて、ここからは私がコーチとしての活動から学んだことを、特にマネジメント側に属する学生諸君にお伝えさせて頂きます。私はマネジメント方面的のコーチということでしたが、当初から知識などがあったわけではありませんでしたので、マネジメントに関する様々な本を読みました。流行りの「もしも高校野球の～」はもちろん、ドラッガー関連の本、これまで集めていた本の再読など。私も現役時代は主務を務め、マネジャー側に籍を置いた人間だったわけですが、正直、学生時代にはマネジャーという仕事の本質など分からず、ただ漠然と上手く部内をまわしていくことで手一杯であった気が致します。私がコーチとして復帰した際も、やはり現役のマネジャー陣は、選手との乖離に悩みながらもどうしていいか分からない…という状況であるように見受けられました。そんなマネジャー陣にとって、以下が一つの答えになればと思います。

まず、マネジメントとは、「チームの方向性を決め、ヒト・モノ・カネ、そして時間をどのように使うかを決定すること」と言いかえることができると思います。マネジャーは読んで字のごとく、「マネジメントする人」ですから、主務・会計・統制・艇友会・広報はプロサッカーやプロ野球でいえば各専門のGM（ゼネラルマネジャー）に相当すると思っていいでしょう。OB会はオーナー、コーチは現場監督です。ボート部の監督はGMの相談役もしくは上司といったところでしょうか。ともかく、学生諸君が主体である以上、精神的なポジションはGM相当におくべきであると思います。プロの世界のGMは、現有戦力と資

産を踏まえて、編成・育成・強化・リクルートを行うわけですが、そこで必要なのはどのような方向性に舵を切るのかという決断です。

決断するには、まず競技に対する専門知識が必要になります。競技の特性や、強い選手の条件を知らないくては、方針を決めることはできません。何より、競技のことを理解していない者が舵をとっては選手が理解してくれないし、本来なら一緒に判断し動いていくべき監督やコーチとも話ができません。

次に、ボート部の活動方針と目標を決めたら、それを実現するための手段として、炊事や会計業務などのサポート内容が決まります。選手は最長で4年間という自身の現役の期間を念頭に活動します。しかし、マネジャーは自分が引退した後5年程度の長いスパンで見たときの判断をしていくことになります。ここで中心になるのは主務であり、コーチ・主将と連携して限りあるモノ・カネ・時間をどう使うかを考え、積極的にコーチ・主将に提案していくべきです。極端に言えば、ボート部の年間スケジュールなども主務・マネジャーが仕切って決定してしまってもいいでしょう。加えて、試合日程や練習試合の日程・相手を決めるのも本来マネジメント側が関わっていくべき仕事であるかと思います。

このように、私がこれからマネジャー陣に伝えたいのは、全員がGM意識を持たないといけないということです。時間には限りがあるということを意識して、同志社大学ボート部が勝つにはどのような戦略で、どんな人間を集めて、どういう教育プランで人を育てるか、しっかりと考えていくって欲しいと思います。そうすれば、ボート部・マネジャー部なんて言われなくなるはずです。少なくとも、自分達が自身の活動に胸を張れるようになるはずです。これからは新しい体作りの時期です。ボート競技について理解を深め、監督・コーチ・現役部員と話し合い、自分達の頭にしっかりとボート部の将来を描けるようにして下さい。その上で、改めて日々の役割分担を考えてください。もしかしたら、結果的に前と同じような試合登録や会計業務、飯作りを行うことになるかもしれません。しかし、意味づけが全く違ってきます。チームとしてのゴールが見えているなら、同じような活動の中からでも新しい仕事や改善策を発見することができるはずです。社会に出れば、特に多くの人が進むであろう営業職にはマネジメント系の力が必要になります。どこにゴールをおくのか、どのような筋道をとって実現するのか。同志社大学ボート部のマネジャーたちにその力がつけば、毎日練習している選手たちの努力が、きっと結果に結びつくはずです。

以上が、私から皆さんにお伝えできることです。大切なこともあるかと思いますが、これからも頑張って下さい。今までありがとうございました。

前監督
目方 雅喜

ボート競技を現場で見て、一喜一憂の私の生活が終わりました。長期間に渡る先輩、後輩、ご父兄及びボート関係者の皆様からのご支援に、改めて御礼申し上げます。

十分な指導が出来ず、学生時代に「勝つ喜び」を体験させられなった卒業部員には、お詫びいたします。学生時代の悔しい思いを、社会人での礎として頑張ってください。また、学生スポーツで苦楽を共にした仲間を、大切にしてください。

現役の皆さんには、まず部員数を増やし、部内から



監督
武田 知也

このたび伝統ある同志社大学ボート部の監督に就任させていただき、大変身の引き締まる思いでございます。転職し、京都に戻ってきてから艇友会幹事として2年間ボート部を見てきましたが、その経験を活かせる場を頂き大変ありがとうございます。与えられた5年の任期は決して長くはありませんが、一つ一つ課題の解決に取り組んでいく所存であります。

さて、現状を踏まえれば戦力強化が喫緊の課題であることは言う間でもないことですが、私は任期中に戦力強化以上になさねばならないと強く認識していることが二つございます。

一つ目は、同志社大学ボート部の理念の確立・浸透。二つ目は現役部員が自ら考え、己を偽らない自主・自立の精神を確立することです。

一つ目、理念の確立・浸透についてですが、同志社はご存じの通りOne Purposeです。特にボートという競技の特性上、一つの理念を皆で追及することは大変重要です。しかしながら、現役部員と対峙してみると、その点においての意識が極めてばらばらであることに気づきます。

何もこの点は現役部員が悪いではありません。思えば少なくとも私の現役時代も理念なき状況でした。当時は、体育会に身を置くことが就職に強いアドバンテージとなる時代でした。一方、多様な価値、多様な学生生活があるこの時代に、現役学生が迷いなく漕げる環境をつくるには、「何のために漕ぐのか、ボート部で活動するのか」を明らかにすることが学生への最大の支援と考えています。適宜微修正もあるでしょうが、

SCIENCE

理科機器

PHYSICAL SCIENCE

体力科学機器

INDUSTRIAL SCIENCE

産業科学機器

八神国際貿易株式会社

〒460-0002 名古屋市中区丸の内3丁目2-29
TEL (052) 962-3811 FAX (052) 971-1398
E-mail: hiroo@yagami-itl.co.jp

YAGAMI INTERNATIONAL TRADING CO., LTD
HEAD OFFICE: NO. 2-29, 3-CHOME, MARUNOUCHI, NAKA-KU, NAGOYA 460, JAPAN
TEL (052) 962-3811 FAX (052) 971-1398 E-mail: hiroo@yagami-itl.co.jp

「ボートで勝つ喜びを通じて立派な大人を育成する(大人となること)こと、社会に人格のある権威な人材を供給すること」を徹底し、根付かせようと考えています。

二つ目については一つ目に並び難しい課題であります。ボートは残酷なスポーツです。勝って喜べる機会は極めて少なく、勝っても負けても、全力を尽くせたと心から実感できるレースはなかなかないのではないかと思います。私は、現役部員には、OBへ義務・パフォーマンスのように「絶対に勝ちます、インカレで決勝にいきます」と言うことを戒め、日々の練習に最善を尽くし、自らに「今すべきことから目をそらさず、全力を尽くしているか」と繰り返し問い合わせることを求めます。

私はひとりのOBとして、当然に「勝ってほしい」と思います。勝ちたい、そういうのは簡単です。OBであっても現役であっても同様にそういうでしょう。ただ、本当に重要なのは現役部員自身が心からそう思い、己を偽らずに日々の活動に取り組んでくれることが最も重要です。

最後にOB・OG方々にお願いしたいことがあります。戦績こそ厳しい状況にあり至らぬ点が多々ある現役部員ですが、この厳しい時代にボートというスポーツを選び、思い切って飛び込んでくれたことは大変貴重なことです。どうか暖かく見守ってやってほしいと思います。今後ともどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

料亭 山形屋重右衛門 [臨湖庵]
400年の歴史を持つ京会席とうなぎ料理の店
50名様用お座敷とレストランがあり、ご宴会や冠婚葬祭のコースから懇親会まで
<http://www.yamaju.me/>

詳しくは 0120-13-8103

米穀・業務米・産直米・無洗米・自然食品・米粉

こだわりの米、
全国発送
いたします!

- TEL: 0120-44-3352
- FAX: 072-261-0644
- E-Mail: hatayasu@oak.ocn.ne.jp

〒592-0005 大阪府高石市千代田1-24-11 <http://hatayasu.ojaru.jp>

樂水庵

京都市南部唯一の
キネシオテーピング協会
公認治療院です。

〒612-8483
京都市伏見区横大路草津町25
TEL 090-1902-9553
営業時間 10:00~24:00 (不定休)
※完全予約制

決意表明

■新4回生



主将
南出 貴裕

同志社大学
経済学部 経済学科
滋賀県立膳所高等学校出身

あと、242日。それまでに、どれだけ艇を速くできるか。どうやって部を「インカレ決勝」に導いていくか。最後のシーズン、あがいて、考えて、研究して、練習して、必ず勝ってみせます。そのためにも、同輩たち、後輩たち、もっともっと熱くなろう!!!



主務
鈴木 直道

同志社大学
理工学部
化学システム創成工学科
福岡県立城南高等学校出身

もう4年生。まさにこの言葉に尽きたと思う。大学に入ってボートを始め、毎日死に物狂いで練習した。朝日が昇る前に起き練習しタクタになりながら学校に通い、帰ってきてまた練習というルーティンワークにもう慣れた。瀬田川の夏の焼けるような暑さにも、冬の凍えるような寒さにも耐えられるようになった。気づけばボート部の生活が当たり前のことになってしまった。しかし思えばこの生活も残すところあと僅かである。ボート部で過ごした3年間、乗艇距離は何万kmに及んだであろうか。途方もない数の漕ぎワントロークが今の自分を形作っている。最後の2000mで自分は何を得るのか。それだけを考えて残りのボート部生活を悔いのないように過ごしたい。



会計
中田 幸佑

同志社大学
経済学部 経済学科
私立清風高等学校出身

入部してもうすぐ3年、ついに最終学年となる。今年も結果を残すことができなかった。全国で結果を出すには本当に努力をしなければならないし、チーム全体で強くななければならぬとも思う。だから、現時点では、少ない部員の中で8+を組むのではなく、4+を対校にすることは競争意識を高める上でも、大事なことである。ここ近年、同志社ボート部は結果を残せていない。スポーツ界で結果を残していくところというのは、人並み以上の努力を

しなければならないし、何より勝ちたいという意識の高さを感じ取れる。自分たちには負け癖というものがついてしまっていると思う。少し意識を変えるだけでも、行動や艇の動き、出てくる結果は大きく変わってくる。最後の1年、貪欲に勝つという意識をチーム一丸となって出していきたい。そして、自分自身も今まで以上に進化し続け、良い形で後輩たちに受け継いでいるようにします。



谷田 浩毅

同志社大学
法学部 法律学科
大阪府立茨木高等学校出身

いった部位に関しては、日進月歩で新しい理論や方法が出てきていますので、常に新しい情報に触れながら、それらを実践で生きています。今後夏のインカレに向けて乗艇練習の強度が上がっていく中で、とりわけボートを漕ぐための体ができるいい1回生の身体面での強化、ケア、その他の管理等がしっかりできるようしていきたいと考えております。引退まで残り8か月余りですが、納得がいくような終わり方ができるよう、またその後社会に出た時に新たな気持ちで活躍して行けるように残りのボート部生活を過ごして行く所存でございます。

監督・コーチ・OBの方々、応援よろしくお願いします!!

**安原 唯菜**

同志社大学
商学部 商学科
兵庫県立国際高等学校出身

早いもので、気づけばもう2回生が終るうとしています。先輩の後について行くことで精一杯だった1回生の時に比べて、今年は試合の付き添いや、統制としての仕事など、様々なことを経験させていただきました。漕手と過ごす時間やボート部に関わる時間が増えていくと共に、マネージャーとしての自分の存在意義に悩んだりしました。しかし私自身、昨年よりもっともっとボートが好きだと思うようになりました。勝ちたいと思うようになりました。

■新2回生**太田 圭祐**

同志社大学
法学部 法律学科
私立那須高原海城高等学校出身

入部して、1年が経とうとしている。思えばあっという間であり、とても新鮮な1年間だったように思う。物心ついたころからやり続けてきた野球から離れ、ボートという新たな競技に出会った。また、兄貴・姉貴のような先輩と、素晴らしい同回の仲間にめぐり合うことができた。一回一回の練習では、試行錯誤しながらも、様々な発見があり、ボートの楽しさや難しさを

**君和田 剛大**

同志社大学
経済学部 経済学科
私立清真学園高等学校出身

決意はこの一点に尽きます。それは同志社ボート部の主力となることです。ただ先輩たちについていくだけの後輩ではなく、戦力となる後輩としてありたいと思うです。同志社ボート部の勝利に

**佐藤 拓朗**

同志社大学
社会学部 産業関係学科
私立滝川高等学校出身

この1年を振り返ってみると本当に様々なことがあった。ダブルスカルを滋賀絆の船にぶつけたり、先輩に迷惑をかけたり、加古川では何も結果が残せなかったり、そして冬練では初めに怪我をして思ったような練習ができなかったりなど自分の不

**日比野 聖司**

同志社大学
政策学部 政策学科
岐阜県立岐阜高等学校出身

入部してからあっという間に時間が過ぎたような気がします。まだボートを始めて1年も経っていませんが、多くのことを感じ、学ぶことができました。体力、技術ともにまだまだ未熟ですが、その分成長を感じられる楽しみもあり、充実した時間を過



分はボート部に何ができるかを考え、些細なことでも実行していくように頑張ります。そして、「勝利」に貢献できるマネージャーになりたいです。「ボート部での生活もやっと折り返し」なんて言っていたらあっという間に終わってしまいそうで、一日一日大切に過ごしていきたいです。そして表彰台に上る漕手の姿を見たいです。しかし私自身、昨年よりもっともっとボートが好きだと思うようになりました。勝ちたいと思うようになりました。

痛感し、加古川では勝つ喜びと負ける悔しさを味わった。自分の人生の中で、これほど喜怒哀楽を体験した1年は初めてであろう。冬を越えれば上回生になる。朝日、選手、インカレという大きな大会もある。初心を忘ることなく、縁あって、この自分が巡り合った競技に対して全力で挑戦続けていきたい。

貢献する為に一切の努力を惜しまないことを誓います。

甲斐なさが際立った1年になってしまった。また自分がいかに弱いか知らされた1年でもあった。来年の力漕ではこのような事を書かないよう悔いのない年にしたい。

ごせています。もうすぐ2回生になり大きなレースに出る機会も増えていくと思います。来シーズンこそ、今年逃し続けた金メダルを奪取できるよう頑張ります。

**丸尾 拓也**

同志社大学
社会学部 産業関係学科
奈良県立平城高等学校出身

ボート部に入って半年以上過ぎました。入学当初は体育会の部活に入る気は全くありませんでしたが、今ではボート部の一員になるという選択は正解だったと思っています。この1回生のオフシーズンにしっかり体力をつけ、また、技術の向上に

**川村 佳苗**

同志社大学
生命医科学部 医情報学科
滋賀県立膳所高等学校出身

ボートという競技に出会ってから、4年が経とうとしています。高校時代はただただボートを漕ぐということに邁進し、ボートという競技の魅力を知りました。しかし、大学ではマネージャーという立場でボートと関わることになり、競技を裏で支える大切さに気づきました。日本ではまだマイナーな競技ですが、私たちが頑張ること

**三島 奈々**

同志社大学
文学部 国文学科
金城学院高等学校出身

漕手とマネージャーひとりひとりがボートと真剣に向き合い、ひとつの目標に向かう姿を見て、私もここで戦ってみたいと思い、入部を決意してから早半年が経ちました。この半年間を振り返ってみると、本当に様々な経験をさせて頂き、目まぐるしく移ろう環境に自分を順応させていかなくては、と夢中になった日々でした。

**新垣 彩実**

同志社大学
政策学部 政策学科
沖縄尚学高等学校出身

月日が経つのは早く、私がボート部に入部してから1年が経とうとしています。初め、ボートという競技を聞いたことも見たこともなかった私にとってこの部活に入ろうと思ったのはほとんど新歓のノリでした。入部したての頃は先輩方にも大変迷惑をかけ、部活というものを甘く見ていたと痛感させられることも多くありました。

力を注いで、シーズン中には先輩方に引けをとらないローイングができるよう精進致します。

とで一人でも多くの皆さんに魅力を伝えることが出来ればいいと思います。そのためにも私自身、漕手をしっかりとサポートしていけるよう一生懸命マネージャーの仕事をしていきたいです。この1年は無我夢中で過ごしたような気がします。今年はもっと周りを見て更なるパワーアップにつなげていきたいと思います。

た。マネージャー業は初めての事ばかりで不安もありましたが、それ以上に自分が行動した分だけ成長できる環境の中で日々何かを得られる事に今は嬉しく感じております。マネージャーとしてまだまだ荒削りで未熟ではありますが、これからも積極的に取り組みながら、チームに貢献していきたいです。

しかし、それでも辞めないのは、先輩方や同回の仲間に本当に恵まれているからだと思います。新しい年を迎えるに当たり、自分の役職も決まりました。これからは先輩についていくだけでなく、それを吸収し自分で行動できるようにしていきたいと思います。また、漕手をサポートできるように、全力で頑張っていきます。

証明写真 ¥1,000
コマイ写真館
石山・京都信用金庫前(松原バス停前)
TEL・FAX (077) 537-3122

石山温泉 料理旅館
松乃莊
滋賀県 大津市石山螢谷3-31
TEL:077-537-0069 FAX:077-537-1027

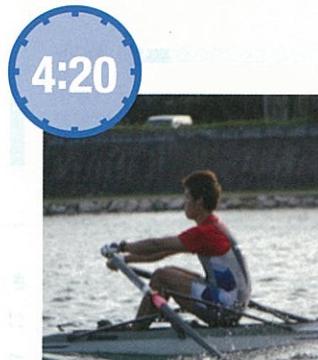
BEAUTY COLLECTION LEAF
jack beans
cut / color / perm / make

鐵板焼き
創作お好み焼き
焼酎・地酒
かすみ
〒520-0831 大津市松原町14-11 TEL:077-534-8685

観光 あみ船・料理旅館
琵琶湖・瀬田川畔
新近江別館
〒520-0831 滋賀県大津市松原町18番地10号
TEL (077) 537-1980 (代) http://www.shin-oumi.jp/

日本酒とビール・ウイスキーの店
北井酒店 瀬田商店街
TEL:0120-45-2113 TEL:0120-43-0220

漕手編



朝モーション

COXの「起床!」の合図と共に起床し、朝モーションが始まります。外はまだ暗くて寒いですが、寒さに負けず乗艇します。



午後モーション

午後のモーションも長距離を必死に漕ぎこみます。



登校

1限の授業がある漕手はこの時間に出発しなければ間に合いません。今日も元気にしていきます!



午後ウエイト

様々なトレーニング器具を使い、体を鍛えます。



授業中

単位を取るため、一生懸命授業を受けます。



食事

みんなでお話をしながら、マネージャーの愛情と栄養たっぷりのご飯をいただきます。



帰宅

ようやく一日の授業が終わり、合宿所に帰って来ました。ただいま!



就寝

今日も一日お疲れ様でした。明日のモーションも頑張ります。おやすみなさい!

ボート部の一日

マネージャー編



朝モーション

朝モーションはビデオ撮りと朝ご飯作りに分かれて行います。朝日が出てきたら、ビデオ撮りの開始です。



買い物出し

買出しリストを見ながら、今日の晩ご飯と明日の朝ご飯分の食材をかごいっぱい買います。



登校

朝モーションの当番の時は、合宿所から学校に向かいます。みんなで元気にいってきます!



料理

合宿所に置いてある様々な調味料を使って、おいしい料理を作ります。合宿所の調理器具はすべて特大サイズです。



授業中

眠さを堪えながら、授業に集中します。



午後モーションのビデオ撮り

モーターを出して、ビデオを撮ります。モーターに乗りながらのビデオ撮影は緊張しますが、ブれないように頑張ります。



帰宅

授業を終えて合宿所に帰って来ました。ただいま!



郵送作業

帰宅するまでの残りの時間に、試合案内などの郵送作業を行います。先輩方のお手元にきちんと届くよう、マネージャー全員で協力して行います。

2012年度 ボート部練習計画

主将
南出 貴裕

同志社大学
経済学部 経済学科
滋賀県立膳所高等学校出身



4+出漕の理由

それは勝ちたいからである。部員数の低下による部内競争の実質的鈍化、平均レベルの低下は免れず、8+で出艇とした時、競争もなく何もせざとも対校に乗れるはどう考えてもおかしい上、「対校」意識も芽生えることはない。対校に乗るための競争意識を持ち、クルー結成後もクルー内に留まらず部として競争を煽りレベルアップを図るために、4+出漕とした。

1. Rowing (週6 ~ 8回)

- ・漕量…「週100kmを最低漕量」として、100km→110km→120km(→100km...)と3週間スパンでBPM (Bulden Per Motion)を変えていく方式。
- ・冬季は技術力向上と有酸素運動を同時にを行うため、低レート(SR18~23)長距離を基本メニューとする。
- ・有酸素運動的效果を高めるため、乗艇中は常時心拍数140以上をキープできるようにし、回艇中も120を切らないようにする。
- ・シーズンに向け随時高レートメニューを増やしていく。
- ・12~2月:低レート100% / 3月:低レート70%高レート30% / 4月:低レート50%高レート(測定含) 50%

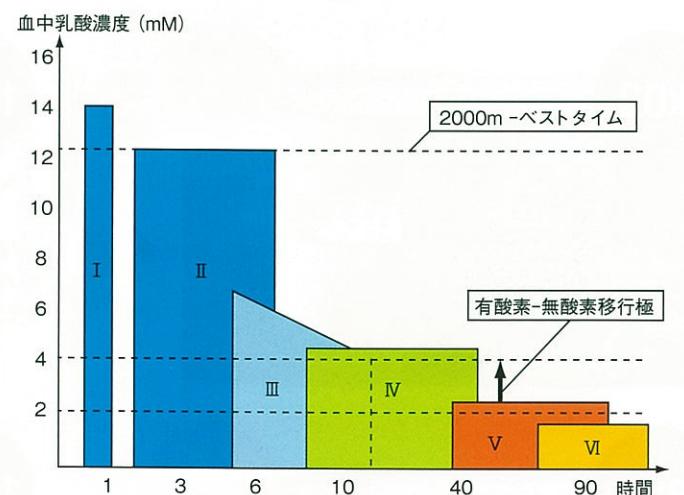
2. Ergo (週1回)

- ・陸トレのすべての目的は、「2000T.T.結果の向上」である。
- ・シーズンでの2000m測定時の結果を向上させるため、冬季中はひたすら有酸素運動を行う。
- ・SR17~22の低レートにて、80~90分漕を基本メニューとする。
- ・シーズンに向け、徐々にU.T.メニュー→A.T.メニュー→レースメニューと推移させ高レートに移行させていく。
- ・右図はフランスのナショナルチームが作成した血中乳酸濃度と時間の相関からトレーニング強度を表す図である。我が部のレベルを想定した上で、冬季にはこの右2つのカテゴリを中心に、その後シーズンに向け左メニューに移行させていく。

週	回数×set数 (全種目共通)	負荷 (%対1RM)	Rate (per:1分)	総回数	set間rest
①	10 × 4	60	18	40	1min
②	8 × 4	65	20	32	1min
③	6 × 5	70	22	30	1min
④	8 × 3	50 (down)	18	24	1min
⑤	8 × 5	70	18	40	1min
⑥	7 × 5	75	20	35	1min
⑦	6 × 5	80	22	30	1min
⑧	8 × 3	50 (down)	18	24	1min
⑨	8 × 5	70	22	40	1min
⑩	7 × 5	75	20	35	1min
⑪	6 × 5	80	18	30	1min
⑫	8 × 3	50 (down)	18	24	1min

3. Weight (週2 ~ 3回)

- ・冬季中は、筋肥大を目的として、それまで重さを重視して可動域が小さかった従来の動作を、回数を確実にこなせる重さで、可動域を限界まで大きくする動作に変更する。(特にフルスクワット・デッドリフトにおいて)また運動生理学に基づき、超回復を狙うためウェイトの翌日は基本的にウェイトは行わない。
- ・①2月まではRowing Faster記述に基づき、鍛える部位は同一で、行う種目の異なるメニューを3種用意し(例:上腕二頭筋→ラットマシン/ベントロー/ダンベルロー、大腿四頭筋→スクワット/レッグプレス/レッグランジ)、それぞれをローテーションで行うことで、同メニュー繰り返しによる「飽き」を解消する。
- ・②週ごとに各セットの回数と重さを変えることにより(4週間ごとに強度をローテーション)体の筋肉に対する刺激を変化させる。
- ・①②によって、ミクロ視点では種目を、マクロの視点では強度を変えてローテーションすることにより、無意識のうちの体への刺激を高め、効率化を図る。MAX測定を行い、その1RM結果に基づいて「あげるべき重量」を算出して各個人に重量を指定し、それを基本に行う。



4. Running (週0 ~ 2回)

- ・基本的には、ウェイト・エルゴとセットで行う。
- ・ウェイト、エルゴのダウンの意味も含め、約5kmの短距離ラン。
- ・測定時は8km ~ 13kmのコースでランを行う。

COXの視点から 見た分析

池本 雅基

同志社大学
スポーツ健康科学部
私立洛南高等学校出身



今回このような場を頂き、「COXの視点から見た分析」を述べて欲しいという依頼を受けた。しかし何をどう分析すればよいか見当もつかない。そう思って、ここでは私が日常頃部員に言っていることや、個人的に思っていることについて書きつづろうと思う。賛否両論様々あるだろうが、これもひとりの現役部員の考え方であると思って読んでいただければ幸いである。

現在同志社大学ボート部の漕手はわずか11人。今年は4+が対校なので、この11人で4つのシートを奪い合うわけだが、競争のレベルは低く、競争とは言い難い状況である。部内競争というの、チームが強くなるための手段としては非常に効果的であり、漕手一人ひとりのモチベーションを保つにも最適なものだと思う。しかし、人数的にもなかなか難しいところがある。このような環境におかれている今、現役部員達はどのような意識を持って練習をしているのだろう。

新体制になり半年ほど経った。監督やコーチも変わりメニューもこれまでとは大きく変わった。そんななかで、我々は大事なことを忘れつづるように思える。おそらくほとんどの部員はそのようなことに気づきもしなかったんだろう。現在のコンセプトは、私が思うには、「とことん技術を磨く」というコンセプトである。確かに重要なことである。しかし、このコンセプトが大切な意識を希薄化させたように感じる。それは「水中を出し続ける」という意識だ。もっと言うと、「より艇を速く、遠くへ運ぶ」という意識である。技術ばかりにとらわれてしまい、「水中を出し続ける」という意識が薄れてしまったのだ。もちろん全員が全員そうではない。ストイックに水中を出し続ける者もいる。だが、多くは「水中を出す」という意識が飛んでしまったように思える。私が見てきた先輩方は技術云々とは関係なく、水中を出し続けることを大前提として

いた。何度か一緒に乗せていただいた園田先輩は水中が落ちたものがいれば「落とすな!」と喝を入れ、時には「甘ったれるな!!」と怒鳴りつけることもあった。植田前主将は「水中!!!!」と大きな声を出しきるに気合を入れさせたし、畠田副将や中村先輩、加藤先輩も、水中を出し続けた。このような今まで当たり前のようにあった意識が今では薄れてきているように思える。本質は「舟を速く動かす」ことであるのを忘れてはならない。

私はよく1回生にこのような質問をする。「なんのために練習しているの?」するとほとんどの者は、急な質問に言葉を詰まらせるか、「うまくなるためです」と答える。その答えに更に私は追い打ちをかける。「どうしてうまくなりたいの?」するとみんな言葉を詰ませてしまう。彼らはうまく漕げればそれでいいのか、と私は落胆する。おそらくは、上回生に聞いても同様の反応を示す者が多いだろう。彼らの「うまくなりたい」の先には何も見えていないかもしれない。このようになってしまふのは先ほど述べた「技術を磨く」というコンセプトが原因の一つとしてあると私は考えている。むしろ、もともとこのようになりつつあるものに拍車をかけたとも考えられる。どちらにせよ、良くない傾向にあることは確かだ。私がどう答えてほしかったのか。その答えは1回生でたった一人即答してくれた日比野聖司がはっきりと言ってくれた。彼はこう答えたのだ。「勝つためです」と。本来はこうあるべきだ。アスリートは常にその競技で「勝つため」に練習するものだ。そして、トップアスリートほどこの目標を見失うことがない。「勝つ」ことが最大の喜びであり、周囲の人への最大の恩返しであることをよく知っているからだ。しかし、部員のほとんどが「勝つためです」と即答できないのが現状だ。では、彼らには「勝つ気」というものがないのだろうか。



COXをしていると漕手の性格が面白いほどわかる。「こいつは負けん気が強くて頑固だ」、「あいつは気が弱いが決して折れないメンタルを持っている」など、説明してくれと言われれば簡単に説明できるほどだ。そして、このボート部の漕手に限らず人間の性格とは人それぞれであり、まったく同じなどあり得ない。しかし、性格は違っても感じるものが同じであることなどいくらでもある。映画を見たときの「面白かった」、ご飯を食べたとの「おいしかった」、恋人にふられて「悲しい」などだ。そして、漕手が負けたときに感じることも共通している。試合後のミーティングでみんながみんな口をそろえてこう言う。「悔しい。もう負けたくない。」と。ボートでは引き分けなどない(少なくとも私は見たことがない)から、「負けたくない=勝ちたい」と捉えてよいだろう。実際、同じこ

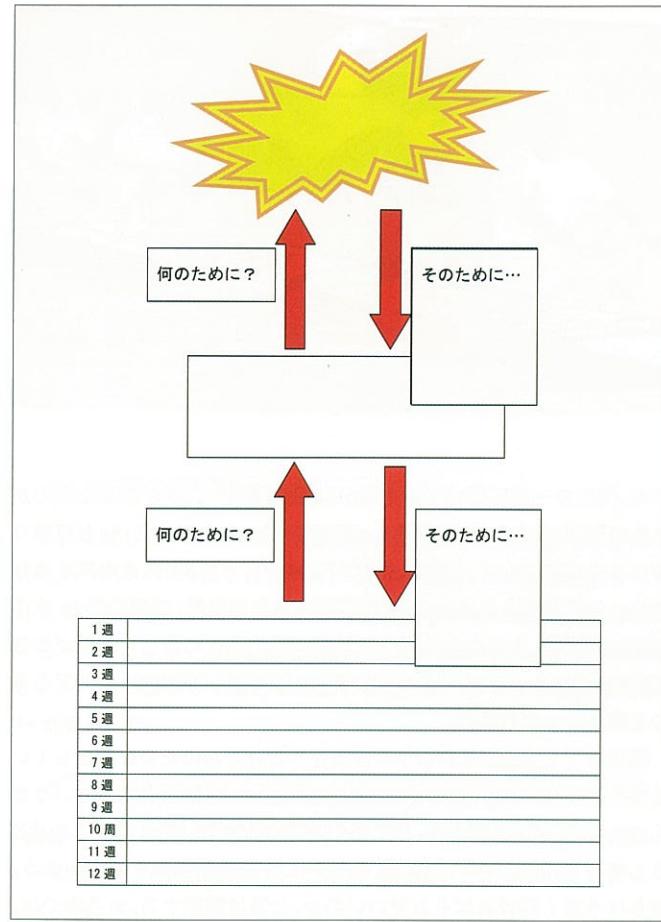


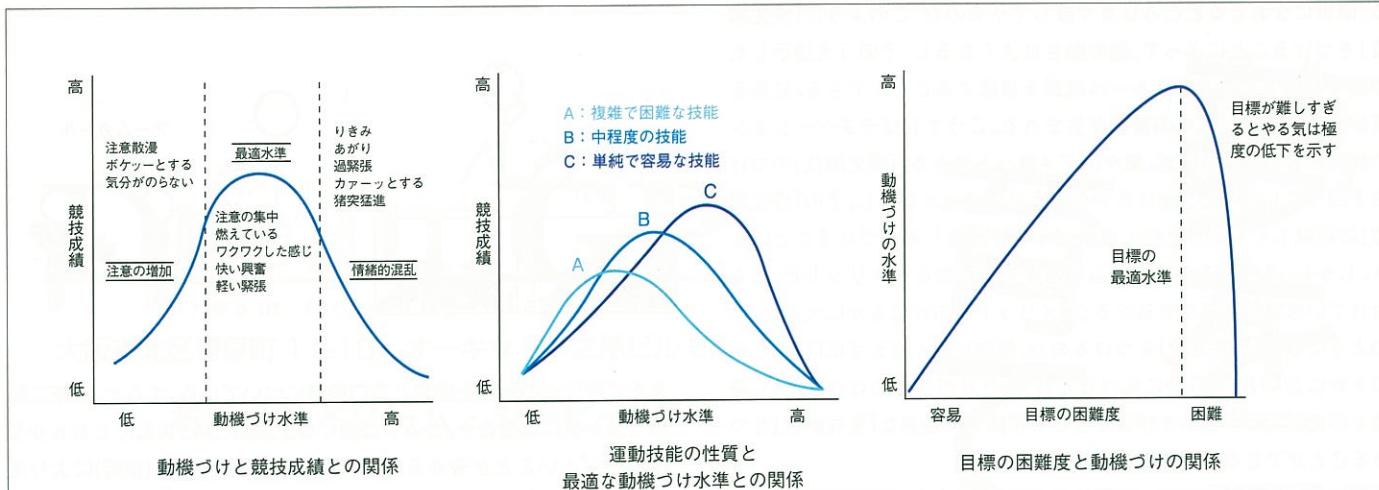
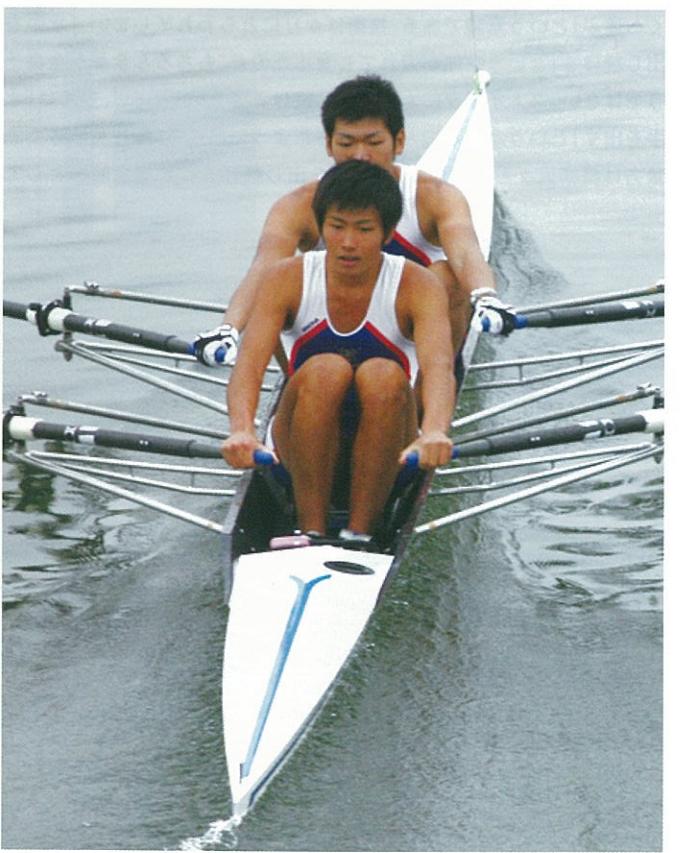
図1

とだとは思わないが、甘くみればそう考えることができる。つまり「勝ちたい」という気持ちは漕手全員が持ったことがあるのだ。だが、おそらくそれは一時的なものであり、すぐに彼らの頭の片隅に追いやられてしまう。負けた時は確かに「悔しさ」や「勝ちたい」という気持ちは前面に出てくる。しかし、その気持ちは長続きしないのだ。つまり、試合後の練習で「勝ちたい」という気持ちはほとんどないわけだ。このことが現在の練習のコンセプトの変化に起因するのではないかと私は考えている。

この「勝ちたい」という意識の希薄化は他にも悪い影響を及ぼす。新体制になり1回生を主とし、漕手に指導することがかなり多くなった。指導していると今になって前任の高橋毅コーチがおっしゃっていたことが分かる。「学生からのアプローチがほしい。」ということだ。漕手たちは確かにうまくなりたいという気持ちを持っている。しかしそれは「受動的」であり「能動的」ではない。ほとんどの漕手は決して自ら成長に歩み寄ることなく、他人に指摘されたり指導されたりするまではなにもしない。これでは伸びるものも伸びなくなってしまう。だからなければ、あるいはうまくなりたければもっと人に教えを乞うべきだ。もっと「能動的」になるべきなのだ。この「受動的な向上心」も「勝ちたい」気持ちが薄れてきていることによるものだろう。本当に「勝ちたければ、なににでもすぐる気持ちで必死になるはずだ。この「受動的な姿勢をなんとかしない限りは、なにも変わらないと私は考える。

「受動的な姿勢を「能動的」に変えるものはやはり気持ちである。つまり「勝ちたい」という気持ちでありモチベーションである。では、どのようにしてこれらをもちつづければよいのだろう。その方法の一例として、私が実施したことを取り上げる。私は一昨年の11月頃、ちょうど関西秋季選手権の頃に同回生に目標の立て方とそれがどのような効果をもたらすかについてレクチャーした。それは次の内容だ。「目標はしっかりともたなければならない。これからシーズンオフで明確な目標を見失う者が増えるだろう。人間はなんの動機もなしに一生

懸命になれるほど強いものではない。だから、ここで目標を見失わないようにする必要がある。そこで、三段階の目標を立ててもらおう。(そこで図1を書いた紙を配った)まずこの図を見てほしい。この図を見ると、一番上、真ん中、そして1週、2週…と書いた空欄がある。この空欄に目標を書いていくわけだが、見てわかるように一番下の空欄は各週の目標になる。まず最初に一番上の空欄にシーズン中の目標を書く。自分が達成し得る最も大きな目標だ。次に「そのために」という矢印に従って、一番上の目標を達成するために必要なことを書く。そして同様にして1週のところにも書く。すると、自分が一番上のところに書いた目標を達成するためには何をすればよいのかがすぐに分かり、それが各週の目標につながることで、目標が明確になる。それだけでもモチベーションを維持しやすくなるし、あるいは向上するはずだ。そしてもしも「今自分はどうしてこんなことをしているのだろう」と行き詰ってしまったり、目標を見失いそうになったときは、反対側の矢印「何のために?」に従って上へ上へ戻ればよい。そうすることで常に一番上の大きな目標を見失うことがない。こうしてモチベーションを保つのだ。ただ、エルゴのタイムに関する目標は一番上に書くことは許さない。一番上の目標は「~で勝つ」という内容にしてほしい。「勝つ」ために練習していることを忘れてほしくないからだ。この紙は毎週月曜池本に提出し、他の人にはいっさい見せないこととした。私たちの場合、一番上の目標は澤の考案で「新人戦で勝つ」と統一することにした。クルーで目標を統一するためだ。私は、このようにして「動機づけ」をすることによってモチベーションの維持を図ったのだ。この話をするとよく聞かれることがある。「提出させた紙を公開しなかったのはなぜか。そっちの方が強制力があったのではないか。」といった内容である。それに対して私は「強制力があるからだめなんだ。」と答える。強制されてやることほど意味のないことはない。自主性がなければ成長にはつながらないのだ。そしてもっと大事なことは「最適な目標」を立てさせてやるためだ。目標は自分に合ったものでないと効果がないが、人に見られるとなると、どうしても見栄を張る者や、達成できなかったときに咎められるのを恐れて簡単に達成できるような目標を立ててしまう者出てくる。私はそれを回避したかったのだ。



次に、上記のグラフを見てほしい。「動機づけ」とパフォーマンスの関係に関するグラフだ。ここで「動機づけ」が高いとは、目標が自分の能力と不釣り合いなほど高すぎることを表し、「動機づけ」が低いとは、目標が低すぎるあるいは無いことを表す。グラフを見ると、動機づけが低すぎるとパフォーマンスは落ち、動機づけが高すぎてもパフォーマンスが落ちてしまうことが分かる。つまり、目標がなくてはパフォーマンスは落ちてしまうし、自分に合っていない高すぎる目標を持っていても最高のパフォーマンスは発揮されないということだ。従って、自分に合った最適な目標を立てる事が大事なのである。今、この部でしっかりと目標を持っている者が果たして何いるだろうか。私が見ている限りではほとんどいない。まず「動機づけ」をすること、これが我が部が強くなるために必要なことではないだろうか。

また「考える力」というものが不足しているのも問題の一つだ。ローリングエルゴメーターを利用した練習で80分漕や90分漕といった長時間をUTで漕ぎ続けるメニューがある。このメニューを見ているとき私は漕手に「今は何を意識しているの?」「何を考えて漕いでいるの?」と聞く。すると即答する者と、少し間を置き答える者がいる。前者は、なるほど確かに意識した通りの漕ぎを見せる。しかし、後者は答えた瞬間に漕ぎが変わる。つまり、今までは何も考えずに漕いでいたが、私が聞いたことで咄嗟に考えて答えるのだ。それでばれないで思っているのだろうか。体の動きはすべてを物語る。はっきり言うと、このような漕手は話にならない。80分、90分の間、無駄に体を動かし、汗を流しているのだ。これほど馬鹿らしいことはない。

そして、明らかに見当違いなところを意識している者もいる。「どうしてそこを意識しているの?」と聞くと、自分なりに考えたのであろうがよくわからない答えを返す。「それは違うんだよ」と私は心の中で嘆く。どうしてこのようなことが起きてしまうのか。その理由はいくつかあるだろうが、最も大きな理由は、自己分析の不足だ。これも我が部が強くなれない原因の一つであると私は考える。自己分析というものは、何かを変えるとき、何かを新しく始めるとき等には欠かせない、最初の一歩である。例えば、まったく売り上げが伸びない商品があるとする。この商品の売り上げをなんとかして伸ばしていくかなければならない。そう考えているときに、いきなり新たなアイデアを出したりはしないだろう。まずは最初の一歩である自己分析を始める。「この商品はこの年齢層には売れているが、この年齢層には人気がない」、「消費者の男女比はこうだ」など自

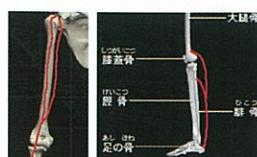


目標が難しすぎるとやる気は極度の低下を示す

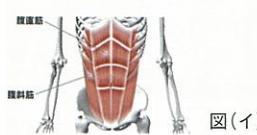
る。簡単におせるところはまず直してやるのだ。このように「優先順位」をつけることによって、艇の動きはよくなるし、そのうえ提示した課題を克服することでクルーは成長を実感することができる。成長を実感すれば次の課題への意欲が生まれる。こうすればモチベーションの維持にもつながるのだ。確かにデメリットはある。「優先順位」のつけ方を誤ってしまった場合はなかなかうまくいかないし、その「優先順位」に固執してしまうと全く進歩がないまま苦しみつづけることになる。しかし、そのようなことはある程度予測可能なデメリットだ。気を付けていれば対策はできるだろう。メリットの方がはるかに大きい。どのようにして「優先順位」をつけるのか。最初は深く考えずに「好きなものを先に食べるか、最後に食べるか」のような感覚でつければよい。経験を積めば自分の性格や特徴などとも相談して最適な「優先順位」をつけることができるようになるだろう。

さて、話は変わるが、陸上トレーニングの際、エルゴメーターでの練習を見ているといつも思うことがある。彼らは果たしてどれくらい自分の体に関する知識を持っているのだろう、ということだ。例えば「腕」に関する知識についてだ。広辞苑では「腕」とは「肩口から手首までの部分。」と記述されている。ちょうど図(あ)の部分を表す。しかし、スポーツの世界ではこれは大きな間違いである。トップアスリートたちの常識では「腕」とは図(い)のように肩甲骨、胸鎖関節から手首までが「腕」なのだ。このようなことを彼らのほとんどは知らない。だから「腕」を伸ばせと言っても肘を真っ直ぐにすることしか考えない。「腕」を伸ばせと言えば、肘を真っ直ぐにすることはもちろん、「胸鎖関節や肩甲骨から前に伸ばせ」と言っているのだ。この「胸鎖関節や肩甲骨から腕を使う」というのは、野球にしろ、テニスにしろ、ゴルフにしろ、トップアスリートにとっては常識的かつ非常に重要なことなのである。また、よくドライブ中に肩の上がる者がいる。原因はいろいろ考えられるが、私が見ている限りでは、マシンローリングの大会で見る他大学の漕手も含め、上腕が「内旋」しているケースが多い。「外旋」や「内旋」という言葉を初めて聞く者も多いだろう。上腕は肘を境にして肩に近い方のことを言い、上腕が「外旋」しているとは上腕が図(A)のような状態のとき、上腕が「内旋」しているとは図(B)のような状態のときをあらわす。

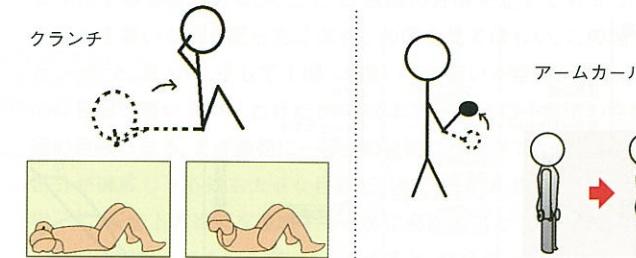
これらの図をご覧になればわかるだろうが、「外旋」をすると肩は落ちているが、「内旋」をすると肩が上がっている。従って、「内旋」しながらハンドルを持つと肩が上がるのは自然なことだ。このような原理で肩が上がっている者が多い。従ってハンドルを持つときは図(C)に近い状態でハンドルを持つのが好ましい。また、ウエイトトレーニングを見てても自分の体についての知識がないことを感じさせられる。上腕二頭筋を鍛える最も一般的かつ有名なトレーニングはアームカールである。小学生でも知っているトレーニングであろう。ではなぜアームカールなのだろう。それを理解している者は少ない。筋肉は関節をまたいでついている。例として腓腹筋とヒラメ筋を見る。図(ア)を見てわかるように腓腹筋は大腿骨から、ヒラメ筋は腓骨から関節をまたいでかかとの骨についているのが分かる。同様に上腕二頭筋も橈骨から関節を



図(ア)



図(イ)



またぎ肩甲骨の関節上結節と鳥口突起についている。すると、上腕二頭筋を動かすには橈骨か、あるいは肩甲骨上結節、鳥口突起のどちらかを動かせばよいことが分かるが、筋肉は自分の体の中心(体幹)により遠い方から収縮するので、アームカールのようなトレーニングが有効になるのだ。一般的な腹筋、クランチが有効である理由も図(イ)のように腹直筋がついているからである。これらを理解していれば、どこを鍛えているのかわからないような、おかしなベンチプレスやスクワットではないはずである。一般人は知らなくてもよいような知識ばかりだが、我々はアスリートであるからこれぐらいは知っておくべきなのだ。

ここまで私は漕ぎの分析などは全くしなかったが、それには理由がある。最近、我が家に帰ると母がいつもある番組を録画して見ている。番組名はわからないが内容は、カリスマドッグトレーナーが問題犬を飼っている家庭へ行き問題を解決する、といったものだ。1時間程度の番組で、毎回3件の問題を解決している。一緒に見てみると、すばらしいとしか言いようのない解決っぷりである。慣れまわっていた犬は大人しくなるし、ベッドから降りなかった犬はベッドに近寄りさえしなくなる。さすがはカリスマドッグトレーナーだ。しかし私は、彼が犬の調教などはほとんどせずに問題を解決していることに気付いた。実は調教していたのは飼い主である「人間」の方だったので。彼は飼い主の「思考」や「イメージ」を変えているだけだったので。まず、犬というのはリーダーが必要な生き物であることを理解させる。そして、飼い主に自分がリーダーにならなければならないことを教える。主従関係が大事だと理解させるのだ。それを理解させるだけで、犬の見方が大きく変わる。ただのペット、友達という見方にリーダーと子分という見方が加わる。そうすると、これまで飼い主が行ってきた愛情表現は甘やかしているだけで、リーダーとしての愛情表現ではないことに飼い主は気づく。そして、どのような態度をとればよいのか、どのようにしていけばよくなるのかがわかる。そのようにして、まずは飼い主の「頭の中」を変化させることで一気に解決へ結び付けるのだ。このように、何かを変化させる場合は「頭の中」を一気に変えることが最も大事なのだ。

私が技術云々という分析は全くしてこず、考え方や頭の使い方、知識について言及してきたのはそのためだ。強くなるためにはまず「頭の中」を変えるのが最も重要なのだ。頭で考えていることはいろいろなことに大きく反映される。従って、「頭の中」を変化させればいろいろなことが変化する。言動や体の動作はもちろん、上の例のように犬との接し方、犬の態度ですら大きく変わる。今我々が変えていかなければならぬのはまず「頭の中」だ。ぬるま湯につかり冷え切ってしまった頭を、沸々と鬱憤あふれるような頭に変えていかなければならない。そうすることができれば、なにかしら望んでいる結果を出すことができると思は信じている。

「ボートは好き?」と聞けば「うん」、「大好きです」とマネージャーを含め部員みんなが答える。この気持ちを忘れずに、努力するしかない。もう負けてはいられない。

Dream GP

Dream Growing Platform

大阪市北区菅原町 11-10 オーキッド中之島ビル 6F

株式会社ドリーム・ジーピー

- 三次元足型自動計測機
- モーション・コントロール・センター
- セレクト・シューズ・システム
- 計測屋さんのインソール
- かおはん

企業を元気にする

- マネジメントシステム認証取得支援
ISO9000/ISO14000
ISO27000(ISMS)
- 経営コンサルティング
- システム開発
- WEB製作
- CADアウトソーシング

“企業を元気にする会社”

MADOC
Management Doctor Corporation, Inc.
www.madoc.co.jp

株式会社マドック

大阪市浪速区日本橋西 1丁目 3-19 南海日本橋ビル 1F

夢を育てる会社



同志社 艇友会員 インタビュー

同志社艇友会員インタビュー1

荒野を目指せ

A4二つ折り2枚から始まつた「力漕」。

広報 本日はインタビューにご協力頂きありがとうございます。早速ですが、今年度より、「力漕」のデザインがフルリニューアルするのですが、これについて新井会長はどの様にお考えでしょうか？

新井会長 まあそうだね、「力漕」も学生がアイディアを出し合って、毎年同じものではなく、少しずつ手直していくのがいいですね。あくまでも、「力漕」はボート部の部報だからね。「力漕」を最初に作ったのは誰だか知ってるかい？

広報 はい。去年の総会の際に、初代「力漕」担当の方とお会いできる機会があったのですが、あまり詳しくお話しを伺えなかったもので…どのような経緯で、発刊に至ったのですか？

新井会長 始まりはちょうど私が監督をしていた時でしたね。確か、昭和58年から平成元年にかけてだったかな。当時は「僕たちはこういうことを、こういう気持ちでやっている」とかを、関係者の方にお伝えしたいと思って。特に私が考えたのは郷里のご家族の方かな。自分の息子たちがさっぱり連絡をよこさないと、不安でしょ？「ちゃんと学校行ってるのかしら」とかね。しかし、夏休みとかに家に帰ってくるたびに、もやしみたいだった体がたくましくなっている。母親はお風呂から上がった体を見てびっくりされただろう。そういうことを少しでも伝えようと思ったのが始まりでしたね。もちろん、記録を残すという意味もあってね。昔はA4の二つ折りを一枚から二枚でしたね。

広報 そうだったのですか。そんなに薄いものからスタートしたとは知りませんでした。そこから、どんどんとページ数が増えてきたのですね。

新井会長 そうそう。毎年、学生がしてくれたアイディアが積み重なってね。これからも「力漕」とは何か、ということを忘れずに、その



■ ボート部での素晴らしい出会い

広報 意味を掘り下げていってほしいと思います。
新井会長 ありがとうございます。先輩方の思いを胸に、私たちもこれから『力漕』を作りたいと思います。さて、話は変わりますが、新井会長にとってボート部とはどんな存在ですか？

新井会長 学生時代、仲間と共にボートに全てをかけたという思い出をくれたものであり、またその素晴らしい仲間との縁をくれたものでしょう。私は幸い、二度の全日本選手権優勝、そしてメキシコ五輪出場という大きな成果を得ることができましたが、何よりもボートを通じて同じ目標に向かって切磋琢磨したことが、当時の仲間との縁を今でも大切にしようという気持ちにつながっているのです。一昨年もメキシコからWild Rover IV世の帰還がありましたが、あれも当時の仲間との絆があってこそ実現できたと思います。

広報 確かに、先輩方はみなさんボート部で得た友人は一生ものだと仰いますね。では、新井会長がボート部に入部されたきっかけは何だったのでしょうか？

新井会長 私は小さいころからスポーツをしていて大学でも何かしたいと考えていたんです。人々、その中にボートという選択肢があって、先輩から話を聞いたりする中でボートに決めました。スポーツを通して肉体と精神を鍛えたいという思いは、今の人们も持っているのではないか。

広報 そうですね。スポーツからは多くのことを得ることができます。特にボートは、肉体も精神も大いに磨く事の出来るスポーツだと思います。

広報 ちなみに最近のボート部をご覧になっていて、新井会長が漕手に求めることはありますか？

新井会長 やはりどういうボート部にしたいかということを意識してほしいね。もちろんボートを漕ぐ練習が中心ですが、ただ艇を速く走らせて試合で勝つというだけではなく、自分たちはこういう部を作りたい、そして後輩たちにこういうものを残してやりたいということをしっかり持ってほしいと思います。結果を出すことばかりに視点を向けるのは、ちょっと違うと思う。ゴールを目指すことはもちろん大事だけど、そこに行くためのプロセスというか、何のためにボートを漕いでいるのかということを考えて欲しいね。ゴールに行き着くために必要なことは沢山あって、優秀な人をどうやって見つけてくるか、どうやって練習させるのか、そういうことも理解しないとダメだと思う。例えばスーパーマンみたいな人がいたとして、さほどトレーニングせずにインカレ優勝する。そのような勝利に価値はありません。個々の能力差はそれぞれだが、如何にして自分の限界を超



同志社艇友会
会長
新井 喜範
同志社大学
昭和45年卒

■ プロセスを考え、限界を超える

広報 えていくか、そこをもっと意識してほしいね。
新井会長 プロセスを大切にすることで、結果が付いてくる。そういうことが大切なんですね。

■ マネージャーの力は非常に大きいもの
広報 それでは、マネージャーに求めることとは何ですか？
新井会長 私はずっと漕手だったから、マネージャーやCOXについてはよく分からぬこともある。でも、そういう支えがあつたから、存分に漕ぐことができた。本当に彼らがいなければボート部というのは活動できないし、重要なポジションだと思います。我々のときは、女子マネージャーがいなかつから、最初はみんな漕手希望で入部して、途中から誰かがCOXやマネージャーをやらなければいけなかつたんです。それでも、「よし、分かった！漕ぐのは君に任せせるから、僕はサポート役に回る」という風に転換してくれた人たちがいたんですね。裏方に回るというその決断、そして苦労というのは大変なものだったと思います。だからこそ、漕ぐ方も支えられているという意識がもって、彼らの分もやらないといけないと思うんです。そういう意味でも、彼らの力というのは非常に大きかったんですよ。

広報 漕ぎたいという思いを持ちながら、部を思いサポート役に回られたみなさんがおられたからこそ、それが励みとなつたのです。私たちも当時のマネージャーの皆さんに負けないように、今まで以上に頑張りたいと思います。

■ Wild Roverとは
広報 では、最後にボート部員へメッセージをお願いします。
新井会長 今もずっとWild Roverの底面をつけて、インカレとか全日本にチャレンジしているでしょ？Wild Roverというのは、新島先生がアメリカへ渡られたときに乗った帆船の名前だと、それはみんな良く知っていると思う。だけど、Wild Roverそのものの意味はみんな知っているのかな？

広報 Wildというの野生という意味ですが、Roverの意味とは何でしょうか。その言葉の意味まで、考えたことがありませんでした。

新井会長 Wildとは野生というよりも、荒野だね。そしてRoverは漂流と

かさすらいという意味。私もWild Roverの本来の意味について外人に聞いてみたのですが、はっきりした答えはありませんでした。捉え方は広いと思いますが、私は「荒野を目指す」という意味だと思うんです。僕自身もそうでしたが、今の人たちにも荒野を目指してもらいたいですね。僕自身も現役の時はそんな大げさには考えていましたが、今思返してみれば荒野を目指していたわけです。悩み続け、意味があったのかは分からぬままの4年間でした。ですが、社会人になる前に、そういう時間は必要でしょうね。ボート競技は簡単には結果は出ません。ですから、一生懸命やったけれど、成果は得られず、意味があったのかなという思いにどられるかもしれません。しかし、何かを求めて一生懸命やる、そういう4年間がボート部での活動なのではないかと思います。それと、私が思うボート部とは、男を磨くところです。自分を鍛えるとか、これは他のスポーツでもそうですけどね。特にボート部というの、オールを握って黙々と漕ぐというか、自分を追い込んでいかないと練習にはならないでしょう。逃げ出したい限界のところでやっているかないと力がつかない、そういう競技ですから。また、一人ではなく仲間がいて、お互いに奮起して、練習に励んでいくということが出来る。自分だけ手を抜くということも出来ません。そういう面では、学生にとって、ボートは素晴らしい競技だと思います。肉体を鍛えるということは単に肉体だけではなくて、意志を鍛えるということにもなります。社会人になって様々な局面にぶつかったときに、ボート部時代の経験が活きてくる場合があります。たとえば、仕事で失敗して落ち込んだりするときがありますよね。でも一步引いて客観的に自分のことを見てみると、「こんな程度はあのときのインカレの困難さから思ったら、大したことじゃない」と、また新たに意欲が湧いてきます。ですからボート部の4年間は自分の気づかないところで、いろんなものを自分に植え付けてくれると思います。

広報 ありがとうございます。本日は貴重なお話をありがとうございました。

京阪シルク 京のちりめん 問屋

丹後ちりめんと、
京友禅の融合した伝統美

京阪シルクは和装小物・袋物用素材・和雑貨の企画開発を行っています。

近年は特にちりめんに注力した素材を提供しています。

丹後ちりめんと京友禅の融合した伝統美をお楽しみください。

〒600-8108
京都市下京区五条通西洞院東入る

**TEL:075-351-2340
FAX:075-351-4352**

www.keihansilk.com



ボート部とは 強い絆を育む場所

広報 本日はインタビューにご協力頂きありがとうございます。早速ですが、阿江先輩のボート部生活とはどんなものだったでしょうか。

阿江幹事長 僕は高校時代、陸上部に所属していて短距離を専門として、主に100メートルを走っていました。リレーでは県大会で3位という成績も残したんだ。だから大学でも、陸上をやりたいと思って、陸上部に見学にいきました。そこで監督とお話しする機会があったのですが、僕の100メートルのタイムは11秒2だと話すと、そのタイムでは試合には出られないと言われました。それで陸上同好会に入ったけれど、あまり面白くなくて…。そんな時に、ボート部のポスターを見て、これなら大学からでも始められると思い、入部を決めました。その時の同期には僕を含め漕手は6人いたけれど、そのうち4人がセレクションで、僕と齊藤君の2人だけが一般生でした。当時は女子マネージャーがいなくて、3年生の男子マネージャーがご飯を作っていたんだ。

広報 当時の男子マネージャーは何名ほど居られたのですか？

阿江幹事長 主務と学連と会計の3人だったかな。その3人で毎日ご飯の支度などをしていました。僕は、ボートに乗せてもらえると思い入部したんだけど、人数が足りなかったようで、乗れる艇もなくて、いつも僕と齊藤君の2人は走ってばかりいました。まるで陸上部のようだと感じたものです。2年生になって、エイトを3艇、フォアを1艇、組んでいたけれど、メンバーが怪我をしてフォアが組めなくなり、当時の先輩から、「スカルだけ挑戦してみるか」といわれ、2年生の朝日レガッタはスカルで出場したんだ。

広報 エイトを3艇も組まれていたなんて、今と比べ人数は倍以上居られたのですね。何名ほどいらっしゃったのですか？

阿江幹事長 40人ほどじゃないかな？その当時は3年生の男子マネージャーが献立をたてて、1年生が買い出しに行っていましたね。買い出し係はだいたい2人で、自転車の後ろにもカゴを付けてね。前方に卵を入れていて、よく唐橋で落としてしまっていたね。すると先輩から「南郷！」と言われ、南郷と艇庫までの往復10キロを走らされました。その他にも、お皿を割ったり食材を落としたりすると走らされていました。夜になると、「牛乳屋」と呼ばれ、先輩の夜食などを買い出しに行ったりもしましたね。

広報 今とは全く違う合宿生活だったんですね。驚くことばかりです。阿江先輩は、いつ頃まで漕手をされていたのですか？

阿江幹事長 3年生までです。僕の代は6人しかおらず、一般生は僕と齊藤君の二人だけだったので、3年生になる時には僕たちが必然的にマネージャーになるとわかつていましたね。僕は主務をして、齊藤君は学連兼会計。その2人でご飯を作ったり、お金を集めたり、監督がいらっしゃった時にはモーターを出したりしていました。また、セレクションを集めるのも主務の仕事だったので、インターハイ会場に足を運んで、声をかけていました。

広報 お二人でこれだけのお仕事をされていたなんて、本当に大変なことだと思います。そんなボート部は、阿江先輩にとってどう

同志社艇友会
幹事長
阿江 克彦
同志社大学
昭和63年卒



漕手とマネージャーを経験したボート部生活

阿江幹事長 練習も厳しかったけれど、それが糧になりましたし、マネージャーをさせてもらったということも大変勉強になりました。4年間大変充実していたと思います。また、ボートを通して、多くの方々との絆を育むことができました。君たちがまだ会ったことのないOBの方々は多くいらっしゃると思いますが、OBの皆さんも君たちも、世代は違っていても、同じ土地で同じ目標に向かって励んできた仲間です。僕も先日、中部艇友会へ参加しましたが、そこで初めてお会いする方が何名かいらっしゃいました。顔を合わせるのは初めてでしたが、ボートに対する思いは同じでした。共にボート部を応援していきたいという思いは変わらないんです。ボート部員であったということで、とても強い絆を感じます。ボート部を引退して、何年も経ったOBの皆さんも、君たちの事を気に掛け、いつも応援しています。ボート部は、そうした強い絆を育むことの出来る素晴らしい場所ですね。

広報 ありがとうございました。ところで、阿江先輩が漕手に求めることは何なんでしょうか？

阿江幹事長 そうですね、誰よりも練習をして勝つってほしいということかな。誰にも負けない努力をして必ず勝つ。それが僕の伝えたいことです。また、感謝の気持ちも常に持ち続けてほしいね。OBの皆さんから艇友会費を頂いて、練習に打ち込める今の環境があるわけです。計算すると、選手1人、年に10万円程のお金が割り当てられているんです。こうしたOBの皆さんからの支えがあるからこそ、ボートを漕ぐことが出来るということを忘れず、常に感謝の気持ちを持っていてほしいです。そして、引退後は、後輩たちを支援してほしい。そうすることが、OBの皆さんへの恩返しになると思います。

広報 OBの皆様のご支援があるからこそ、今この環境があるのだと思います。感謝の気持ちを忘れず、努力を重ねていきます。

広報 先ほどのお話を阿江先輩は4年生からマネージャーをされていましたが、今のマネージャーに求めることはありますか？

阿江幹事長 マネージャーもボート部の一員ですし、漕手と同じ存在です。だから、「私たちはマネージャーだから」という考えでは駄目だと思います。ボート部が強くなるためには、漕手もマネージャーも頑張らないといけないし、そなならなければ、艇は走らないと思います。「お手伝い」という気持ちではいけません。ボート部の一員として「私たちと一緒に勝つ！」という想いでいてほしいです。マネージャーは漕がないけれど、漕手が勝つためには自分たちに何ができるのかを考え行動してほしいね。また、女子でも漕ぎたいという子は挑戦してみてもいいと思います。女子の方が競技人口も少ないので、少しの頑張りで勝ちやすいですし、勝つことで同志社大学の名をあげてほしいです。それと、勧誘にも力を注いでほしいね。今はあまりにも少なすぎるので、今年は最低15人を目指し頑張ってください。

広報 私たちマネージャーも部の一員として、部のために、漕手のために、そして勝利のために考え、行動していきたいと思います。では最後に、現役部員へメッセージをお願いします。

阿江幹事長 「頑張りなさい」という一言につきますね。自分に負けず、誰にも負けない努力をしてほしいです。誰にも負けない4年間を過ごした人は、社会に出て多少のことではくじけないと思います。完全燃焼の4年間を過ごしてほしいですね。

広報 本日は貴重なお話をありがとうございました。



Lumiebre

www.lumiebre.jp



AE HANDKERCHIEF CO., LTD.

593-1 Shimotakino Kato-city Hyogo-pref, 679-0212 Japan / TEL : 0795.48.2031 FAX : 0795.48.4602 / www.aehandkerchief.jp

2011年の戦績

関西選手権

於:大阪府立漕艇センター



▶エイト

8+

⑦植田義之 ⑤澤雄樹 ③万木恭介 ④B南出貴裕
(商4) (スポ健2) (理工2) (経3)

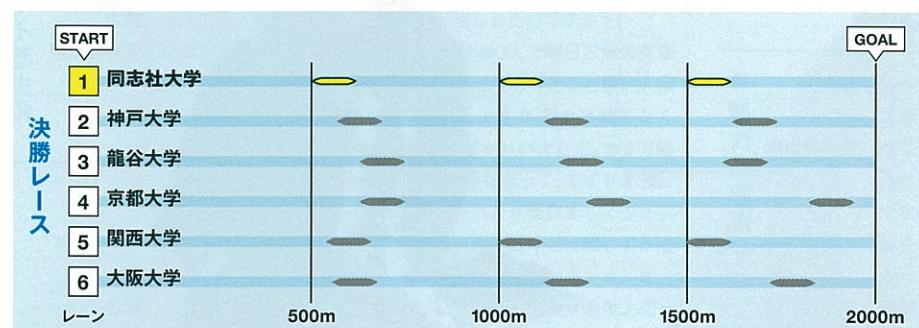
C中田幸祐
(経3)

S鈴木直道 ⑥畠田聖 ④檜垣聰志 ②加藤駿
(理工3) (文情4) (文情2) (経4)

万木恭介(理工新3)

START
1同志社大学
2神戸大学
3龍谷大学
4京都大学
5関西大学
6大阪大学

決勝レース
レーン 500m 1000m 1500m 2000m



全日本大学選手権大会

於:埼玉県戸田市戸田ポートコース



▶エイト

8+

⑦植田義之 ⑤澤雄樹 ③万木恭介 ④B南出貴裕
(商4) (スポ健2) (理工2) (経3)

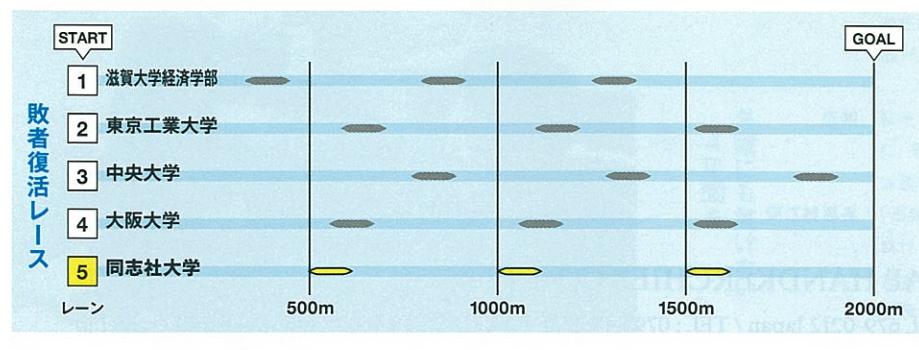
C中田幸祐
(経3)

S鈴木直道 ⑥畠田聖 ④檜垣聰志 ②加藤駿
(理工3) (文情4) (文情2) (経4)

万木恭介(理工新3)

START
1滋賀大学経済学部
2東京工業大学
3中央大学
4大阪大学
5同志社大学

敗者復活レース
レーン 500m 1000m 1500m 2000m



全日本選手権

於:埼玉県戸田市戸田ポートコース



▶エイト

8+

⑦植田義之 ⑤澤雄樹 ③万木恭介 ④B南出貴裕
(商4) (スポ健2) (理工2) (経3)

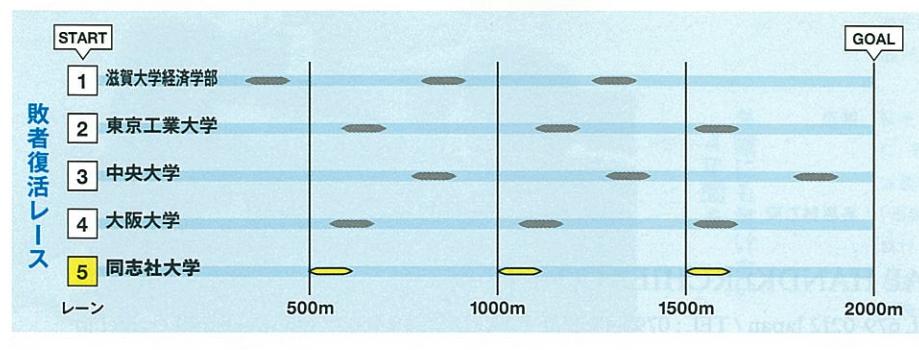
C中田幸祐
(経3)

S鈴木直道 ⑥畠田聖 ④檜垣聰志 ②加藤駿
(理工3) (文情4) (文情2) (経4)

万木恭介(理工新3)

START
1一橋大学
2同志社大学
3東北大学
4東京経済大学
5龍谷大学

予選
レーン 500m 1000m 1500m 2000m



全日本選手権大会

於:埼玉県戸田市戸田ポートコース



予選

レーン	クルー	着順	500m	1000m	1500m	2000m
1	一橋大学	2	1'40"51	3'26"52	5'10"94	6'54"92
2	同志社大学	5	1'45"85	3'38"16	5'28"37	7'21"71
3	東北大学	1	1'39"26	3'23"28	5'08"42	6'50"39
4	東京経済大学	3	1'45"54	3'31"94	5'20"46	7'06"29
5	龍谷大学	4	1'42"34	3'30"06	5'19"29	7'08"98

敗者復活

レーン	クルー	着順	500m	1000m	1500m	2000m
1	警視庁	4	1'41"17	3'26"87	5'21"36	7'11"35
2	東京経済大学	3	1'44"60	3'30"02	5'18"80	7'09"66
3	慶應義塾大学	2	1'42"86	3'28"07	5'14"84	7'02"10
4	京都大学	1	1'40"98	3'27"32	5'14"64	6'58"04
5	同志社大学	5	1'44"32	3'35"94	5'28"49	7'22"46

敗退

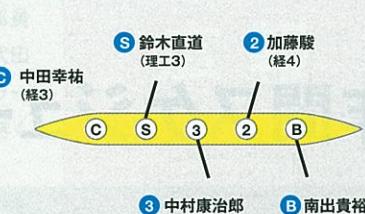
全日本選手権

0～500mの第1クォーターのタイムは1'45"85だった。全日本でトップクルーと勝負するためには、1'40を切るタイムが最低条件である。今回のレースではスタートスパートでレートが上がりきらずに、スタート10本で既に半艇身以上離されてしまった。どんなレースであろうと、ボート競技ではスタートで他の艇より前に出ることが求められる。それが決定的な敗因の一つだと思う。次に500～1500mのコンスタントの区間では、スタートでレートが上がらないままコンスタントに入ったため、次第に艇のリズムが重くなり、空回りしてしまう結果となった。第4クォーターも同様である。総評としては、まずスタートでしっかりレートを上げ、より素早く艇を最高速にのせること、またそのリズムを崩さずに艇を運ぶ意識を切らさないことが重要だと思われる。

鈴木直道(理工新4)

舵手付きフォア

4+



全日本新人戦 準決勝

スタートではさほど失敗したという感じではなかったが、敗復とは違い、スタートを出し切るという勢いが少く、慎重になりすぎた。スタートが決まった東京大学には少し出られる形となつた。スタートでの勢いが少なかつたせいか、コンスタントに入つても、悪いリズムをそのまま引きずつてしまい、短く、重たいリズムになってしまった。レートも今まで体験したことないくらいまで落ちてしまった。ミドルスパートで一回ペースを上げよう試みるが、結局すぐに他のペースに戻ってしまった。ベースが落ちてきた東大が見え、いると思った。それと同時に4位の京大も上がってきたので焦りを感じた。1500m付近では立教には出られたが、他の三クルーは混戦となり、ここで上げたらいいかと全員が思った。ラストスパートでは良い漕ぎが出来ておらず、漕ぎよりもむしろレートだけとなってしまった。ラストスパートでは艇速は少し上がったが、ラスト100mではむしろ艇速は減速してしまっていた。

澤雄樹(スポ健新3)

全日本新人選手権大会

於:埼玉県戸田市戸田ポートコース



予選

レーン	クルー	着順	500m	1000m	1500m	2000m
1	名古屋大学 A	4	1'48"52	3'44"71	5'41"75	7'38"45
2	大阪大学	1	1'44"46	3'33"68	5'23"77	7'12"26
3	茨城大学	5	1'57"20	3'55"04	5'56"35	7'53"16
4	同志社大学	2	1'46"24	3'36"22	5'27"70	7'22"09
5	一橋大学	3	1'48"29	3'38"39	5'32"84	7'23"75

敗者復活

レーン	クルー	着順	500m	1000m	1500m	2000m
2	長崎大学医学部	3	1'45"36	3'37"54	5'30"37	7'23"91
3	山口大学	2	1'43"65	3'29"91	5'18"63	7'04"15
4	同志社大学	1	1'40"75	3'28"60	5'16"87	7'03"88
5	防衛大学校	4	1'47"99	3'41"04	5'34"46	7'30"01

準決勝

レーン	クルー	着順	500m	1000m	1500m	2000m
2	立教大学 A	1	1'38"91	3'23"71	5'12"75	7'00"91
3	東京大学	2	1'36"35	3'22"49	5'13"56	7'04"45
4	同志社大学	4	1'40"29	3'27"28	5'18"16	7'06"35
5	京都大学	3	1'42"97	3'28"64	5'18"49	7'05"97

舵手付きフォア

4+



エルゴ2000m T.T ベスト表

順位	名前	学年	サイド	TIME
1	徳田 直也	2	B	6'36"7
2	檜垣 聰志	2	S	6'39"3
3	太田 圭祐	1	S	6'39"6
4	澤 雄樹	2	B	6'42"0
5	南出 貴裕	3	B	6'43"6
6	鈴木 直道	3	S	6'47"2
7	万木 恭介	2	S	7'00"9
8	日比野 聖司	1	B	7'04"4
9	君和田 剛大	1	B	7'04"8
10	丸尾 拓也	1	S	7'06"0
11	佐藤 拓朗	1	S	7'15"5



トップ4人平均タイム

6'39"4

全体平均タイム

6'52"7

年間スケジュール

2011 年		2012 年	
4/2.9.16.23	試乗会	1/2	初漕ぎ
4/30 - 5/1	チャリティーレガッタ		
5/28 - 29	平成23年度 関西学生新人レガッタ		
7/2 - 3	平成23年度 関西選手権大会		
8/8	献花式		
8/25 - 28	第38回 全日本大学選手権大会		
9/15 - 18	第89回 全日本選手権大会		
9/24	琵琶湖レガッタ		
10/9	第46回 京都レガッタ		
10/14 - 16	第52回 全日本新人選手権大会		
11/4 - 6	第22回 関西学生秋季選手権大会 (加古川レガッタ)		
11/12	総会		
12/25	納会		

2012 年 予定	
5/3 - 6	朝日レガッタ
6/23 - 24	平成24年度 関西学生新人レガッタ
6/30 - 7/1	平成24年度 関西選手権大会
8/8	献花式
8/23 - 26	第39回 全日本大学選手権大会
9/13 - 16	第90回 全日本選手権大会
9/22 - 23	琵琶湖レガッタ
10/14	第47回 京都レガッタ
10/19 - 21	第53回 全日本新人選手権大会
未定	第23回 関西学生秋季選手権大会 (加古川レガッタ)

マネージャー役職紹介

みなさまの中には、ボート部のマネージャーは「どんな仕事をしているのか?」と、あまり詳しくご存じない方が多いのではないかと思います。今回は、マネージャーそれぞれが担っている役職と、その具体的な内容について紹介させて頂きます。



学連

服部 まどか(新4回生)
谷井 沙衣 (新3回生)

学連とは「関西学生ボート連盟」のこと、各大学のボート部員が若干名ずつ所属し、構成されています。

主な仕事は、ナックルレガッタと加古川レガッタの運営で、水路部と記録部の2つの部署に分かれて活動しています。水路部の仕事は、コースや会場の設置、撤収などです。

記録部では、エントリーや組み合わせの管理、着順やタイムの集計などを行います。

また、シーズン期は関西の各ボート協会や関東学連

の様々な試合のお手伝をしに遠征に行きます。それぞれのボート協会、学連、審判団、大学ボート部の協力があつて成り立っているのが学連です。

試合のときは、自身の大学と離がちになり寂しいですが、何もなかった水の上にレーンが出来あがり、艇が浮かぶまで、沢山の人と力を合わせてレースを作り上げるということは、大変幸せな仕事です。

広報

高橋 美帆(新4回生)
三島 奈々(新2回生)

広報とは、部の現状をOBの皆様をはじめ、保護者の方々や地域の方々にお伝えする役職です。

仕事内容は、主に次の二つです。

一つ目として、試合のご案内やレース結果のご報告です。試合の前後には、試合案内やレース結果のデータを作成し、メールや郵送で皆様にお伝えします。試合中は、皆様にタイムリーにレース結果をお伝えするため、ホームページの更新を行います。

二つ目として、部報「力漕」の発刊です。部報を発刊するための費用は、地域の商店街や企業がご協力して

下さる広告掲載費から得ています。毎年夏頃から、地域の商店街や企業を訪問し、多くの方々からのご支援を頂きます。また、ページの作成や、OBの皆様や部員の原稿・写真等の収集も行います。今年度からは、武田監督や大沼コーチのご協力を得て、全ページをカラーにしたり、OBの皆様へのインタビューなど内容を大きく変更したりと、部報の改良を行いました。

広報は、部の広報活動を通して、現役の考え方や思いをお伝えすると共に、皆様への感謝もお伝えする重要な役職です。

艇友会

鴻山 愛(新4回生)
西川 亜希(新3回生)
新垣 彩実(新2回生)

艇友会は現役とOBを繋ぐ役割を担っています。

主な仕事は、定期的に行われる幹事会に出席し、部の近況を伝えたり、幹事会で決定された事柄を現役部員に伝えたりすることや、関東艇友会や中部艇友会の準備のお手伝いをして、現役代表として会に参加すること、艇友会費の徴収はマネージャー全員で行っておりますが、より多くの方に艇友会費にご協力頂けるよう、回収方法をマネージャーに指揮し、納入状況をまとめること、そして、11月に行われる総会の準備全般を、

幹事の方と連絡を取り合い、行うこと等です。その他にも、OBの方に関する連絡は主に艇友会担当が行っています。いつも部を支えてくださっているOBの方々と接する機会が一番多く、先輩方と様々なお話をすることで、学ぶことがたくさんある役職です。そして、現役の思いや現状をOBの皆様に伝える重要な役職でもあります。

統制の基本的な仕事は次の三つです。

まずひとつは、マネージャーの管理を行うことです。マネージャーは1ヶ月の間で、当番に入る日があらかじめ決まっており、そのシフトを統制が組んでいます。大会時には、ビデオ撮り、艇付きや料理当番など、マネージャーの仕事を分担し割り当て、タイムテーブルを作成し、マネージャー業務が円滑に行われるよう管理しています。また、日頃から主将や主務と連絡を取り合い、スケジュールの確認、連絡事項の伝達やミーティングの設定を行っています。

二つ目として、大学への連絡や手続きを行っています。毎月、大学内のスポーツ支援課に月間スケジュールを提出しに行きます。また、大会前や遠征前には遠征届、随行

旅費申請書などを提出し、様々な手続きも行っています。

三つ目として、大会や遠征の準備や付き添いを行っています。大会前や遠征前には買い出しに行き、スポーツ飲料、水、調理器具、のぼり等必要な物を準備します。また、宿泊先の担当の方と事前に連絡を取り、スケジュールの確認などを行います。遠征には付添いマネージャーとして漕手に同行し、食事作りや買い出し、ビデオ撮りなど漕手が練習に集中できるようにサポートしています。

その他にも、マネージャーや漕手の意見を取り入れ、練習や日々のマネージャー業が更に良いものになるようさまざまな取り組みをしていくことも統制の重要な仕事です。

統制

安原 唯菜(新3回生)
川村 佳苗(新2回生)

卒業生の言葉



前主将
植田 義之

同志社大学
商学部 商学科
私立関西高等学校出身
三井住友海上火災保険株式会社

今回、このように卒業生として力漕いで書かせて頂くあたり、とてもフワフワした、未だに信じられない不思議な感覚でいっぱいです。

思い返せば、1回生の頃の私は未熟者で、失敗ばかり。(今も十分未熟者ですが...)調子に乗っていて、よく先輩に怒られては反省をしていました。しかし、そんなどうしようもない私でしたが、一つだけ自信を持って言えることがあります。それは、誰にも負けないという負けん気の強さ、自分こそが一番だというエゴを持っていたことです。私が1、2回生の時は、千原さん(119代主将)という高校からの先輩であり、憧れであり、絶対的に強かった方

がいましたが、私はこの先輩に対しても、そのようなライバル意識を持っていたのです。現役部員の皆さん、皆さんはこのような気持ちをお持ちですか?特に下級生には持っていて欲しいと思います。競技の上では先輩が偉いのではありません。あくまでボート部の目標は勝つことであるので、強い者が偉いのです。一人一人がもっと我を出していけば、結果はついてくると思います。ツイッターやミクシイでしか本音を言えないような人間になるのではなく、面と向かって本音でぶつかり合ってください。一流のチームは少なからずその関係性が出来ています。

もうひとつ、来年から対校が付きフォアとなり、以前よりも成果の環境になったこと思います。何が何でも結果を出して下さい。結果を出すことで自分のやってきたことに対して誇りを持てます。結果を出すことで人に感動を与えてくれます。私は勝つことでこの喜びを学んできました。皆さんも味わってみてください。最高ですから。

偉そうなことを書かせて頂きましたが、私の代では何も結果を残すことが出来ず、誇りも何もありません。ボートを辞めて、そんな私に何が残ったのか…。出てきた答えは、支えに対する「感謝の心」でした。私がボート

を漕げていたのは両親やマネージャーなど、様々な人の力があったからです。人間、自分のためより誰かのためにと思っての方が力が出ます。何度も何度も掛けそうになりましたが、支えて下さった方々に恩返しをするために頑張っていました。結果はついていませんでしたが、人としてなくてはならない気持ちを養えたと思います。「感謝の心」が私自身のコアとなり、この先社会人として成長しても、それは変わらないでしょう。今後からはOBとして皆さんに対して恩返しをし、応援していこうと思います。

そして、今度こそ結果を残して欲しいと願っています。監督、コーチの方々、OB、OGの方々、マネージャー、今までありがとうございました。この恩は一生忘れません…。最後になりましたが南出主将…期待しています!!



前副将
畠田 聖

同志社大学
文化情報学部 文化情報学科
長崎県立口加高等学校出身
住友金属鉱山株式会社

▶ 目方監督、高橋コーチ、末廣コーチ、川口コーチ

皆様の元でボート競技に打ち込んだこと、本当に光栄に思います。戦力らしい戦力になれば、申し訳ありません。私が悩んでいるときに、まるで見計らったようなタイミングでアドバイスを下され、救われた場面が何度もあります。どんなときも一緒に戦ってくださり、本当にありがとうございます。

▶ お世話になったOB・OG先輩方

ボート競技のことについてはもちろん、日常の礼儀やボート部の歴史、就職活動のアドバイス、たくさんのこと教えて下さり、ありがとうございました。先輩方がボート部員だった頃のお話を聞くのが何より好きでした。これからは同じ艇友会員としてご指導、ご鞭撻の程宜しくお願い致します。

▶ 有木先輩、瀬川先輩

僕の力で同志社を強くすることはできませんでした。ですが、「同志社」の名前を背負って他大学と戦えたこと、たくさんの人に出会えた大学生活は本当に素晴らしい、充実していました。素敵な思い出と出会うきっかけを作りました。ありがとうございます。

▶ 後輩漕手へ

楽しい時間をありがとうございます!君たちの頑張る姿でいつも「自分も頑張ろう」と思いました。あまり存在感はない僕ですが、精一杯、ボートの魅力を伝えたりします。これから、たくさん悩むことがあると思います。そのときは周りの仲間と一緒に乗り越えてください。一緒に苦しんでくれる仲間が隣にいるはずです。

▶ 長崎で応援してくれた両親へ

浪人上がりの身でろくに実家に帰らず、アルバイトもせず、迷惑ばかりかけて申し訳ありませんでした。しかし私が同志社大学ボート部で過ごした大学生活は一生の思い出となりました。応援ありがとうございました。

この原稿を書き進めるうちに朝になりました。4時20分になる時計を見て、思いに耽る私はやはりボート部員なんだと思います。昇る朝日のように、同志社大学ボート部も少しずつ、少しづつ輝いていかなければと思います。

▶ 後輩マネージャーへ

毎日のようにつまり食いしてごめんなさい。でもすごく美味しいです。食事に限らず、ビデオ撮影、郵送物、艇友会イベントの運営、買い物などなど部を底から支える皆さんに本当に感謝しています。ありがとうございます。おかげ

まで快適なボート生活がおくれました。これからも後輩漕手たちを宜しくおねがいしますね。

▶ 澤へ

実は誰よりも同回生思いで、後輩思いな澤を副将に推したのは僕です。常勝軍団の関西高校から同志社に来て、負けてばかりの状況に一番歯がゆく思っているのは澤ではないでしょうか。しかし、焦らず周りの選手と共に着々と力をつけて下さい。成績が出ず、本当に成長しているのか不安になるけど、「塩の一滴」という言葉にあるように間違いなく澤は成長していますよ。これから澤の活躍を期待しています。

▶ 長崎で応援してくれた両親へ

浪人上がりの身でろくに実家に帰らず、アルバイトもせず、迷惑ばかりかけて申し訳ありませんでした。しかし私が同志社大学ボート部で過ごした大学生活は一生の思い出となりました。応援ありがとうございました。

この原稿を書き進めるうちに朝になりました。4時20分になる時計を見て、思いに耽る私はやはりボート部員なんだと思います。昇る朝日のように、同志社大学ボート部も少しずつ、少しづつ輝いていかなければと思います。

▶ 後輩マネージャーへ

毎日のようにつまり食いしてごめんなさい。でもすごく美味しいです。食事に限らず、ビデオ撮影、郵送物、艇友会イベントの運営、買い物などなど部を底から支える皆さんに本当に感謝しています。ありがとうございます。おかげ



前主務
加藤 駿

同志社大学
経済学部 経済学科
私立南山高等学校出身
株式会社名古屋銀行

はじめに、目片監督 高橋コーチ、末廣コーチ、川口コーチ、瀬川コーチ、ならびに艇友会の皆様、4年間大変お世話になりました。この場をお借りして、深く御礼申し上げます。そしてこれからは艇友会員としてご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

この原稿を書くに当たり、大学生活を振り返ると本当にボートしかしてこなかったなあ…としみじみ感じております。大学にボート部以外の知り合いはおらず、親には申し訳ありませんが経済学部なのに経済のことなんかさっぱりわかりません。しかし全く後悔していません。文字通り同じ釜の飯を食った仲間との間には通常の学生生活では作りえない強い「絆」があります。

経済なんかずっと難しく大切なものをボート部では学ぶことが出来ました。ボート部で過ごした4年間は本当に辛くて、本当に楽しかったです。たいした結果は残せませんでしたが、最高でした!!

私のボート部生活を支えてくださった全ての方にはいくら感謝してもしきれません。本当にありがとうございました。ただ、唯一心残りなのは引退してからの方が現役

の時より上手く漕げるようになっていること。漕げば漕ぐほどボートのことがわかり、どうしたら早く進ませることが出来るのか、今の方がわかるのです。出来るならもう一年漕ぎたかった…。

最後に、現役生そしてまだ見ぬ後輩たちへ苦しい練習をしているときは4年間というのは途方もなく長いと思うこともあるでしょう。しかし、終わってみればあっという間です。今は二度と戻ってきません。死ぬほど苦しんで、死ぬほど楽しんで下さい!!

まだまだ書きたいことはございますが、それはまたの機会と致します。

同志社大学ボート部に栄光あれ。



前会計
中村 康治郎

同志社大学
商学部 商学科
私立静岡学院高等学校出身
静岡瓦斯株式会社

先輩方に惹かれ入部を決意しました。私は人生の転機を迎えたのです。

有難いことに、私は、ボート部を辞めたいと思ったことが一度もありません。それは、ボート部生活全てが新鮮で、刺激的で、日々の生活が充実していたからです。

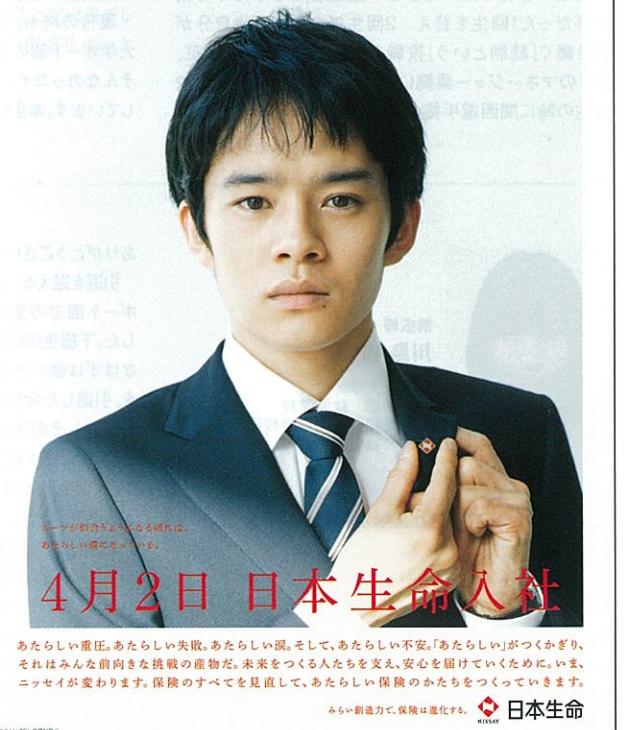
4:20の起床モード、マネージャーさんが作ってくれるご飯、雑用、相部屋、先輩・後輩との鍋パーティー等どれをとっても初めての体験でした。そして、ボートという競技を通じて一つの目標に向かって専念できたというは私にとって大変有意義なものでした。エルゴの2000mTTや大会で結果を出すため通常のメニューに加えて、オフの日にウェイトやエルゴといった自主練習をするなんて、大学入学する以前の自分には決して出来ないことだったと思います。4年間のボート部生活は自分の思うような成り行きにならないことが殆どでしたが、沢山の経験が出来、私自身少しは人間的に成長できたと感じています。学生生活をボート部に捧げて悔いはありません。

最後になりますが、今までお世話していただいたOBの方々、目方雅樹前監督、高橋毅前コーチ、先輩方、ゼミの志賀理先生には大変感謝しております。もちろん、可愛い後輩たちを愛しているのは言うまでもありません。また、両親には4年間部活をやらせてくれた感謝と多々迷惑を掛けてしまった申し訳ない気持ちで一杯です。ありがとうございました。そして、何より、同期には一番の感謝の気持ちを伝えたいです。最後まで残ってくれて本当に嬉しく思います。皆の支えが合ったからこそ今の僕がいます。色々と面倒なこともあったかもしれません、きっといつか皆で笑い合えるいい思い出になる事と思います。本当にありがとうございます。

以上を以て卒業の言葉とさせていただきます。4年間本当にありがとうございました。



はじまる。
あたらしいニッセイ。



FRESCO
神領店

TEL:077-547-4411
FAX:077-547-4412

〒520-2134 滋賀県大津市神領 3丁目8-5 www.super-fresco.co.jp



大津市瀬田 1丁目 19-31 TEL:077-545-0011



**前学連
濱島 昌輝**
同志社大学
文化情報学部 文化情報学科
私立洛南高等学校出身
象印マホービン株式会社

この場をお借りしまして、感謝の言葉を述べさせて頂きます。監督、コーチ、OB・OGの皆様、同期、後輩たち、ここまで支えてくれた両親、本当にお世話になりました。ありがとうございました。

私は大学生になった時、人生において今まで全てが中途半端で終わっていたので、何か一つのことを最後までやり通す、瘦せる(笑)、という目標を持っていました。不運にもこの部と出会い、幾度となく辞めようと思ったことはありましたが、引退を迎える目標を果たすことができました。合宿生活が日常であった時期を経て、今ではもうそれが非日常に感じる生活を送り、やはり3年半という長い時間をこの合宿生活に費やしたことは大変貴重な体験であったと感じています。その中で私は漕手、コックス、マネージャーに学連と多様な役回りを担って参りました。もちろんそれが順風満帆であったわけ



**前統制
川原 彩**
同志社大学
社会学部 産業関係学科
私立同志社香里高等学校出身
株式会社京都銀行

振り返ってみるとボート部で過ごした日々は有意義なものであり、私の大学生活の中心的な存在であったのだ感じています。「ご飯が出来るようになるよ。誰よりも充実した大学生活を送る事が出来る。」と1回生の頃勧誘して頂き、その言葉を何の疑いもなく信じ、ドキドキした気持ちで行った試乗会。家族みたいな雰囲気を醸し出していたボート部に入りたいと思った事は今でも覚えています。

先輩に教えて頂いた事を一生懸命こなすだけ精一杯だった1回生を経え、2回生になると今後自分が引き継ぐ「統制」という役職を念頭に置きつつ、遠征、日々のマネージャー業務に取り組んでいました。特に2回生の時に関西選手権の付き添いマネージャーとして



**前広報
川島 希紗**
同志社大学
政策学部 政策学科
私立愛知淑徳高等学校出身
株式会社愛知銀行

はじめに、私が同志社大学ボート部のマネージャーとして過ごした時間を支えて下さった、艇友会のOB・OGの皆様、たくさんのことを教えて下さった先輩方、頼もしくて可愛い後輩の皆さん、そして最後までボート部で苦楽と共にした同回生の皆さん、本当にお世話になりました。たくさんの方々の、時に厳しく、温かい指導があったからこそ、このような素晴らしい経験をさせて頂けたのだと、今はただ感謝の気持ちしかありません。これまで本当に

ではありません。悪く言えば半端だから全てを渡り歩いたとも言えるのかもしれません、それを経験できたからこそ、複眼的な思考が身に付き、その時々でのポジションの中で自分なりの活路を見出していくたのだと思います。

3年半を振り返れば、学年ごとにそれぞれの思い出があります。1年の時は、加古川で3位という結果を得ることができました。当時は辞めようかと考えていましたが、純粋に嬉しくて、もう一度このような気持ちを味わいたいと続けることを決めました。2年のときは、コックスに転向し、減量、その役割を果たすこと、自分にとってこれらを並行してすることが困難であり、クルーには迷惑をかけてしまいました。試合の結果は思わしい結果が出せず、競技者としても伸び悩んだ時期ではありました。競技そのものや自分自身と向き合うことが出来た濃い時間でやり通す、瘦せる(笑)、という目標を持っていました。不運にもこの部と出会い、幾度となく辞めようと思ったことはありました。引退を迎える目標を果たすことができました。合宿生活が日常であった時期を経て、今ではもうそれが非日常に感じる生活を送り、やはり3年半という長い時間をこの合宿生活に費やしたことは大変貴重な体験であったと感じています。その中で私は漕手、コックス、マネージャーに学連と多様な役回りを担って参りました。もちろんそれが順風満帆であったわけ

きなかった、と学年を重ねるごとにその想いを強めていった次第でございます。人との出会いはどこにでもあるのかもしれません、この部を通じて出会えた人たちには大きな刺激をもらうことができ、過去の自分に比べると格段に成長できたと思います。

これから社会人となる訳ですが、ここで得た経験で以て絶えず成長しながら前へ進んでいこうと思います。ありがとうございました。

▶後輩の皆さんへ

大したことでもせず、何も残すことなかった私ですが、こうしておかげよかったです。引退してからも感じることはあります。自分たちも痛感したことですが、部員不足で1人1人の負担も大きくなり、困難なことはたくさんあるのは間違いません。しかし裏を返せば、人数が少ない事による利点もあり、また新体制で環境も変化している中なので、新しく思いついたことを実践しやすいのかとも思います。幅広い視野を持って、仲間を巻き込んで連携して、この部を活性化させてみてください。たとえそれが直ぐに、また思い通りにいかずとも、最終的にはそれらが相関あって結果につながると思います。現役生に残された期間も1日1日と短くなっています。練習して、楽しむところは楽しんでこの部での生活を有意義にお過ごし下さい。これから活動を期待しています。

行かせて頂いた時に同回生の漕手が私にメダルをかけてくれました。本当に嬉しくて涙が出そうでした。この時は同志社大学ボート部のマネージャーとして誇りを持てた瞬間でもあり、漕手と一緒にどんな時でも頑張っていきたいと感じた瞬間でもありました。

3回生になり、統制として自分が何をしなければならないのか、様々な事を考え、私なりに一番思い悩んだ時期でもありました。時には同回生マネージャーと意見がぶつかり合う事もありました。が、漕手、同回生マネージャー、後輩マネージャー達に支えられ、仲間とのつながりを感じる中でこういった時期を乗り越えてくることが出来たのだと感じています。また私が3回生の頃は関西選手権優勝を果たしました。この時も大きな盾を持たせて貰い、この時みんなで撮った写真は私の宝物です。

伝えたい事は沢山あるのですが、スペースも限られていますのでここからはお世話になった皆さんにメッセージにてお伝えしようと思います。

▶同回生の漕手へ

現役の時も、今でも、どこの大学の漕手より同志社大学ボート部の漕手が1番カッコイイと思っています。そんなカッコイイ姿を見てくれた同回生の漕手に感謝しています。本当にありがとうございます。

▶同回生のマネージャーへ

入部から引退まで1人も辞める事なく今日を迎えることができ、みんながいたから私も頑張れたと思っていました。それぞれ意見や考えは異なる部分もあったかもしれません、少しでも漕手が頑張っている姿を見たいという気持ちは一緒に、その気持ちの強さはどこの大学のマネージャーよりも強かったのではないかと思っています。

「ウチの漕手が1番カッコイイよね」と言い合っていた日々を懐かしく思います。本当にありがとうございます。

▶後輩達へ

自分達は沢山の人に支えられている環境にあるのだと感じながら、勝つことを目標に一生懸命頑張って下さい。マネージャーも漕手が頑張っている姿を原動力に日々マネージャー業務に励んで下さい。漕手だけが強いチームではなく、組織として強いチームが本当に強いチームだと私は思っています。

最後になりましたが、いつも声をかけて下さったOBの皆様、先輩方、同回生、後輩達、陰ながら応援してくれた両親へ感謝の気持ちを込めて感謝の辞を述べさせて頂きます。本当に有難うございました。

ありがとうございました。

引退を迎える先輩方が毎年口を揃えて仰っていたように、ボート部での生活はあつという間に終わってしまいました。下級生の頃は、まだまだ時間があるように感じ、そんなはずはないと思い理解出来なかった先輩方の気持ちを、引退した今痛感しております。

しかしその3年半という、長くも短くも感じた時間の中で、私は日々確実に変化していき、こうして引退した今は、入部当初とは大きく異なる自分がいる感じています。

入学当初は、ボート部に入部し、このような学生生活を送るとは夢にも思っておりませんでしたが、素敵な縁に恵まれて、たくさんの経験をして、今日の自分が在ることにも懸命に考えて過ごしてきた時間は、自分を成長させた本当に贅沢な時間だったのだと改めて感じています。

鉄人かと思うような厳しい生活をして、日々弛まぬ努力を重ねる漕手の姿勢を心から尊敬し、3年半の間その気持ちを原動力に励みました。しかし、私がどれだけ考えたり、想ったりしたところで、それを行なう移さない

いと何も彼らには還元されず、今思い返してみても、結局私が彼らに出来たことなど微々たるものだったかもしれません。

引退を迎えて、自身の部活動における在り方を客観的に振り返ると、もっと色々なことが出来たのではないか、もっと皆に優しく出来たのではないかと思えて、今更ながら悔いに似た感情を抱くこともあります。やはり当時の私にはそれが精一杯だったのだとおもいます。

入学当初は、ボート部に入部し、このような学生生活を送るとは夢にも思っておりませんでしたが、素敵な縁に恵まれて、たくさんの経験をして、今日の自分が在ることにも懸命に考えて過ごしてきた時間は、自分を成長させた本当に贅沢な時間だったのだと改めて感じています。

これからはOBとして、現役の皆の活躍を心から願っています。3年半楽しかったです。本当にありがとうございました。

先輩方には感謝の気持ちでいっぱいです。

入部当初は、ボート部の温かくて楽しい雰囲気に魅力を感じていました。しかし、寒くて凍えるような寒い日でも気が遠くなるような暑い日でも年中真剣に練習に取り組む選手の姿、そして選手を裏で支えるマネージャーの先輩方を見るうちに、「マネージャーになりたい!」という単純な思いから私もボート部の役に立ちたい!という強い思いに気付けて変わっていました。先輩の行動を真似して動くことしかできなかった私は本当に選手に必要とされているのかと思うこともありました。人間関係で悩むこともありました。何もできない自分にもどかしさを感じることもありました。今思うとその時の私は、「マネージャーは選手を支える存在」だとばかり思っていました。しかしマネージャーの役割はそれだけではないと気付いたのです。勝利にこだわりできることをやるしかないと思込んで練習する選手を目の当たりにし、自分の悩みのちっぽけさに気付き、私もやれることをやらなければ選手に背中を押してもらう感じが致しました。つまり、私も選手に支えられながらマネージャーをさせてもらって

いると思えるようになりました。

私はボート部に入るまで、「誰かのために行動する」という機会がほとんどありませんでした。それでも、私も同じ組織の一員としていつでも温かく接してくれた先輩方、いつも笑顔で話しかけてくれた後輩の皆さん、熱くて魅力的な選手のおかげで、私はこんなにもボート部に夢中になり、「誰かの為に自発的に何かやりたい」と思う内在していた自分自身の新鮮な感情に気付くことができました。今振り返ると私の4年間本当に感謝の思いでいっぱいです。

これからは、感謝するだけではなく、新艇友会員としてOGとして同志社大学ボート部に貢献するという形で恩返しをしています。

最後になりましたが、私を支えて下さった同志社大学ボート部に関わる全ての皆さんにお礼申し上げます。ありがとうございました。

出来ることがあったのではないか、と今でも少し後悔しながら考えることがあります。どうか後輩のみんなには「やることは全部やりきった!」と胸をはって引退できるようにしてもらいたいと願っています。

同回生は、遠慮がなくて、ぶつかったり、喧嘩したり、イラっとすることもたくさんありました。しかし同回生の漕手に対しては、誰よりも一番頑張って欲しいと思って応援して、誰よりも格好良いと思える存在でもありました。マネージャー同士では理解し合えないところがあつても、やっぱり一番頼りにしていました。卒業してバラバラになって、これからもう会う機会がなくなってしまうかもしれません、それでも私は、このメンバーが大学で4年間一緒にすごした仲間で良かったと思っています。

最後に私をボート部の一員として過ごさせて下さった皆様、本当にありがとうございました。心から感謝致します。そして現役の皆さん、これからもずっと応援しています。どうかいつまでも魅力的なボート部で在り続けてください。



**前体育会本部
伊豆川 奈美**
同志社大学
商学部 商学科
福岡県立三池高等学校出身
日本生命保険相互会社

引退を迎えて早くも4ヶ月が経とうとしています。引退してからの4ヶ月、毎日ゆっくりとした時間が流れどこか物足りなさを感じるほどです。いかにボート部での生活が充実していたか改めて実感しています。

大学に入学したばかりの時に、初めてボートというスポーツがどのようなものを知りました。初めて先輩方と一緒に乗せてもらったエイトの速さに驚き、先輩方の人柄や部活の雰囲気を知るにつれて、「絶対にマネージャーになりたい!」といつも間にか私はボート部に夢中になっていました。今でもあの時、私を勧誘して下さった



**前艇友会
上田 菜保子**
同志社大学
文部科学部 心理学科
私立同志社女子高等学校出身

撮って、艇友会の先輩方での事務作業をするくらいしか仕事はありません。私がそれにプラスして頑張ったのは新人勧誘用のPV作成くらいです。それでもやりがいをもって最後までマネージャー業をやり続けられたのは、漕手がいつもボートに打ち込んでいる姿を見せ続けてくれたからだと思っています。たった数秒の前を通り過ぎるだけだったボートは、いつのまにかスタートからゴールまでずっと祈るような気持ちで応援する競技になっていました。

また艇友会担当マネージャーとして、OBの先輩方と一緒に話す機会をたくさん頂き、普通では聞くことのないようなお話を聞かせて頂きました。仕事の面で多くの迷惑をおかけしましたことをお詫びすると同時に、ボート部の一員であるというだけで、数多くの経験を積ませてくださったことに本当に感謝しています。

後輩たちに、自分が先輩方にみせて頂いたような頼もしさやその他たくさんの素晴らしいことを十分に伝えられたと自信を持って言う事はできません。それでも最後に1つだけ伝えたいことは、引退するまで、全力で自分にできることをして欲しいということです。私自身辞めたいと思ったことも何度もありました。その度に先輩方や同回生が励ましてくれたり、遅くまで話を聞いてくれたりしてもう少し頑張ってみようと思うことが出来ました。そうやって続けていると気づいたらもう引退でもっと

オリジナル・チームウェア・オーダー
CUSTOM-ORDER FOR TEAM OR CLUB
KO by EIGHTIE'S 京都店(寺町通り)
TEL:075-231-7484 FAX:075-231-7502
e-mail▶▶ kyoto@80-s.jp blog▶▶ ameblo.jp/kyoto-80/

鉄鋼・建材・各種ルーフ・ウォール・成型加工
松井金属工業株式会社
〒600-8060 京都市下京区高辻通柳馬場東入雁金町162
TEL (075) 361-9341

「瀬田唐橋」について 知りたくありませんか？

第一話 古代編

同志社大学ボート部
昭和45年卒 清水 正俊

瀬田および唐橋が舞台となった時代と歴史

「瀬田川」は勢多川・世多川・勢田川ともいわれた。現在は京都府から宇治川、そして桂川・木津川と合流し、大阪府で淀川になる。古代より北陸と大和を結ぶ水路として重要視され、東大寺造営用の木材も運搬された。この事は万葉集にも歌われている。更に東国から京に入る「関所」の役割を果たす等、軍事・交通の要塞でもあったため、「瀬田を制する者は天下を制す」とまでいわれた。そして戦乱の度に焼かれ、都度修理し、架けかえられた。

「唐橋」は勢多の唐橋、瀬田の長橋ともいわれ、宇治橋、山崎橋と並び日本三古橋のひとつで日本の道100選にも選ばれている。

「古代は発掘により、現在より南80m下流に架けられており、橋の構造は組み立て式の重厚な造りであった事が判明」

・台材を支え、基礎の沈下を防ぐため11本の樋の丸太が並べられていた。さらに、その台材は檜の角材を用いた平面形が扁平な六角形に組まれていた。

大津歴史博物館・唐橋再現資料より

一. 古代

①最初の橋

景行天皇の時代に丸木に船を何艘も並べ藤や葛のツタで絡めたといわれる

②神功皇后の摂政元年

香坂皇子・忍熊皇子(仲哀天皇御子)の策謀(反乱)
仲哀天皇の死後、神功皇后が新羅征伐後に皇子を生んだ後、皇位をめぐり香坂皇子・忍熊皇子

の二皇子が反乱をおこした。神功皇后は鎮圧にあたり内宿禰を遣わした。追われた香坂皇子は変死し、忍熊皇子は、宇治に陣取るも、武内宿禰に攻められ北に敗走、瀬田川に身を投げ自害したという
「日本書紀」…神功皇后氣長足姫尊の篇より

③646年

「大化の改新」の詔が下り「近江国衙」が設けられる。国衙(国府)跡は大津市神領と大江の境(建部神社の北)にある。

④667年

大津京遷都
663「白村江」の大敗後、国防の観点で、藤原京より内陸で、琵琶湖を利用し、東へ逃げやすい大津へ遷都された。唐橋はこの前後に架けられたといわれる。



⑤672年 「壬申の乱」

日本古来最大の内乱

天智天皇の御子である大友皇子に対し、天智天皇の弟である大海人皇子(後に天武天皇)が東國の豪族を味方につけ反旗をひらがえた。倭方面、不破関、近江等の戦いを経て大海人軍と朝廷軍の決戦場となつたのが瀬田唐橋で、朝

廷軍が橋の橋板を外し、大海人皇子・高市皇子の大将を待ち受けたが、突破されて敗れた。大友皇子は自害。その後、大海人は再び飛鳥淨御原宮で即位し天武天皇となった。

「日本書紀」 天武天皇 上 元年七月に記載
これが「瀬田の唐橋」の文献上の初見である



*内乱の要因は万葉集にある額田王の「茜さす～」の歌と大海人の「～人妻ゆえに我～」の歌にあるように天武の額田王をめぐる争いだった、ともいわれるが、この微妙な時期に天智に喧嘩を売るような事はあり得ない。あくまで天智死後の皇位継承争いが主であろう。

**大友皇子は皇子のままだったとか、天皇に即位していたとか、天智の妃の倭姫が繋ぎで即位した等の諸説があったが、結局、明治3年朝廷が弘文天皇の諡名を贈った。大友が即位していると「大海人の武力反乱による皇位の収奪」になり、日本の歴史では、過去存在しないと、したいため、長く大友の即位を認めてこなかった。天武は以降、中央集権を強力に推し進め、律令制度を確立させる。

⑥764年 藤原仲麻呂の乱

(恵美押勝の乱)

柿本人麻呂が「壬申の乱」に思いを馳せ、死んだ兵士が宇治川の下流にある網代木に、ただよっている無常の様を説いた。

*ものふ…官人・武人、同志社の「良心の碑」には「丈夫」とある。

**網代木…魚を簍の中へ誘い込んで採る仕掛け

***奈良・明日香にある「奈良県立万葉文化記念館」に、この歌がモチーフの絵画(那須勝哉作)がある。少し気味悪い絵だが…。



越前に向かうが、愛発閑を抜けず、高島・三尾城に籠る。

しかし、そこで一族共に敗死する。その後仲麻呂の勢力は政界から一掃され、淳仁は廢位のうえ淡路に流される。そして孝謙は称徳天皇として重祚(再即位)し、道鏡と共に政権を動かした。それは称徳の死後まで続く。

*保良宮…淳仁天皇が平城京とは別に設けた都(陪都)

所在地は不明だが、有力な説として大津市国分(艇庫の川を挟んで西側)に宮殿の礎石と伝わるヘソ石があり又近津尾神社の境内内神社に洞神社がある。

**田原道…平城京と近江を結ぶ古代道路(続日本紀)

当時の幹線道路は宇治経由から逢坂へ

以上が、権謀術数が渦巻く古代史の舞台として現れた「勢多の唐橋」の第一話でした。

古代編・<終>

参考文献

- 「ウイキペディア」
- 「古事記」現代語訳 講談社学術文庫
- 「日本書紀」現代語訳 講談社学術文庫
- 「続日本紀」現代語訳 講談社学術文庫
- 大津歴史博物館資料

次回、中世編・近世編に続く

他大学寄稿

島根大学
ボート部

主将
箕浦 良文

この度は、寄稿の機会をいただき、ありがとうございます。貴部におかれましては、日々熱心に練習に励んでおられ、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。昨年は、東日本大震災により、瀬田川にも様々な影響があったことは思いますが、戸田で颶爽と漕がれている姿が拝見でき、安心いたしました。

今シーズンの島根大学ボート部の最大目標は、インカレファイナル進出であります。この目標を達成するべく、今後

もチーム一丸となって努力して参りたいと思います。瀬田川と島根で練習場は違えど、同じボートの高みを目指す仲間として、これからも島根大学ボート部をよろしくお願ひ致します。

最後になりましたが、貴部の更なる発展・ご活躍を心よりお祈り申し上げます。

大阪大学
漕艇部

主将
磯 比呂志

この度は部報「力漕」のご発刊、誠におめでとうございます。貴部に置かれましては、日々厳しい練習に切磋琢磨されている事と存じます。

我が部では今年は部員が増えたこともあり、昨年達成できなかった「インカレ最終日」を達成するために勢いをつけて日々練習しています。

毎年、朝日レガッタ、関西選手権、インカレ、と様々な試合で貴部とは競漕させていただく機会が多く、同じ関西勢と

して貴部は目の離せない相手です。試合では良きライバルとして今年もよろしくお願ひします。そして、お互い切磋琢磨して共に関西のボート界を盛り上げていきましょう。

最後になりましたが、貴部の更なるご発展とご活躍をお祈り申し上げます。

京都大学
ボート部

主将
媚山 友仁

この度は部報「力漕」の発刊、誠におめでとうございます。また、寄稿のご依頼を頂きましたこと、心より感謝いたします。

昨年度は東日本大震災が発生し、ボート界にも大きな打撃を与えました。多くの試合が戸田で開催されることもあり、今年度の我々の活動にも少なからぬ影響があることと思います。

今年度、弊部では様々な人間が関わり合い、かつ高め合っていくことを目標に「Synergy (=相乗効果)」という

スローガンを掲げました。しかしながらボート界を盛り上げていくという意味では、弊部の内部だけでなく、瀬田川のボート団体が一体になって相乗効果を起こすことでも重要なと考えています。貴部を始めとして龍谷大学、立命館大学、滋賀大学などの部や社会人の団体と、切磋琢磨しあえる良きライバルでありたいと思います。

本年も貴部と、胸を借りるつもりで競いあっていきたいと思います。お互いに成長の年とできるよう、励んでいきましょう。

立教大学
ボート部

主将
松橋 耕平

この度は部報「力漕」第19号の発刊、誠におめでとうございます。このような場に寄稿させていただけることを大嬉しく思います。

昨年、私たち立教大学ボート部はシーズンの目標としていたインカレにおいて納得のいく戦績をあげることが出来ずとも悔しい思いをしています。それでも秋の全日本新人選手権においては下級生が奮闘し、次のシーズンにつながる素晴らしい戦いを見せてくださいました。現在、私たちは大きな過渡期の中にあると自負しています。迫りくるシーズン

に向けて日々の練習に励み、チームとして着実に力をついている最中です。もちろん、貴部におかれましても日々厳しい練習に取り組んでおられることと思います。練習水域は違えど、同じ学生オアズマンとして大変楽しみになります。

厳しい寒さが続いた冬も終わり、また新たなボートシーズンが始まります。今夏、そして今後、共に戸田を賑わすチームとなれば幸いです。

龍谷大学
ボート部

主将
寺西 賢志

この度は、部報「力漕」の発刊誠におめでとうございます。また、昨年度は艇の運搬などで大変お世話になったことをこの場を借りてもう一度、感謝申し上げます。

同志社大学様と私たち龍谷大学は、瀬田川を挟んで対岸に艇庫を構えているということもあり、普段の様子などから日々ハードな練習に取り組んでおられるのが伝わってきます。

私たち龍谷大学は、普段あまり他の大学と並べて練習することをしていませんでした。しかし、最近では、

せっかく瀬田川というボート競技が盛んな場所にいながら、他の大学と練習する機会をもうけないということが勿体ないと感じています。さらに、他大学様が主催するレース等に参加することが、瀬田川水域のボート競技をさらに盛り上げていく第一歩になればと感じています。そうして切磋琢磨し、互いに努力した結果、試合で良い成績を残せることを祈っております。



株式会社 王子製作所

船舶用艤装部品・建設機械部品
並びに各種製缶加工・一般建築鉄骨施工

本社

兵庫県加古郡播磨町新島23番地
TEL (0794)37-1600(代)
FAX (0794)35-6181

丸亀工場

香川県丸亀市垂水町2747番地
TEL (0877)28-7004
FAX (0877)28-5162

卷末 戦績データベース

全日本大学選手権大会

於:埼玉県戸田市戸田ポートコース

▶男子舵手なしひア S 中村康治郎 (商4) B 徳田直也 (法2)

▶予選 ■レーン1／富山国際大学○着順6○500m:1'52"09○1000m:03'47"78○1500m:5'44"76○2000m:7'42"36 ■レーン2／日本体育大学○着順5○500m:1'51"84○1000m:3'48"07○1500m:5'45"34○2000m:7'39"48 ■レーン3／新潟大学○着順3○500m:1'49"65○1000m:3'44"70○1500m:5'39"54○2000m:7'34"70 ■レーン4／茨城大学○着順2○500m:1'47"47○1000m:3'39"89○1500m:5'34"74○2000m:7'31"47 ■レーン5／日本大学○着順1○500m:1'45"84○1000m:3'34"10 ○1500m:5'25"77 ■レーン6／同志社大学○着順4→敗復へ○500m:1'51"36○1000m:3'47"53○1500m:5'44"34○2000m:7'39"21 ▶敗者復活 ■レーン1／関西学院大学○着順5○500m:1'55"22○1000m:3'56"30○1500m:6'01"69○2000m:8'07"29 ■レーン2／同志社大学○着順3→敗退○500m:1'47"95○1000m:3'41"61○1500m:5'35"33○2000m:7'27"64 ■レーン3／東京経済大学○着順1○500m:1'42"24○1000m:3'32"60○1500m:5'26"06○2000m:7'18"50 ■レーン4／島根大学○着順2○500m:1'42"72○1000m:3'37"95○1500m:5'32"36○2000m:7'24"61 ■レーン5／名古屋大学○着順4○500m:1'51"11○1000m:3'51"43○1500m:5'51"70○2000m:7'47"90

関西学生秋季選手権大会

於:加古川特設コース

▶舵手なしひア S 中村康治郎 (商4) B 徳田直也 (法2)

▶予選 ■レーン1／岐阜経済大学B○放棄 ■レーン2／同志社大学○着順1→決勝へ○1000m:3'59"11○2000m:8'04"43 ■レーン3／広島大学○着順3○1000m:4'11"43○2000m:8'44"22 ■レーン4／大阪府立大学○着順4○1000m:4'28"70○2000m:9'24"05 ■レーン5／島根大学○着順2○1000m:3'56"64○2000m:8'09"36 ▶決勝 ■レーン1／SEAGYLL(大工大)○着順5○1000m:4'03"60○2000m:8'16"17 ■レーン2／同志社大学○着順2→2位○1000m:3'46"75○2000m:7'35"48 ■レーン3／龍谷大学○着順1○1000m:3'41"65○2000m:7'28"28 ■レーン4／岐阜経済大学A○着順3○1000m:3'48"99○2000m:7'36"98 ■レーン5／島根大学○着順4○1000m:3'47"09○2000m:7'55"58 ■レーン6／近畿大学○着順6○1000m:3'57"57○2000m:8'20"98

▶シングルスカル A (南出) ※シングルスカルで出漕予定でした澤(同志社C)は、怪我のため、棄権致しました

▶予選 ■レーン1／田中(大阪B)○着順1○2000m:8'04"08 ■レーン2／林(愛媛B)○着順2○2000m:8'09"97 ■レーン3／南出(同志社A)○着順4→敗復へ○2000m:8'22"98 ■レーン4／中崎(龍谷B)○着順3○2000m:8'10"34 ▶敗者復活 ■レーン1／高田(鳥取A)○着順3○2000m:8'23"47 ■レーン2／南出(同志社A)○着順1→進決勝へ○2000m:7'47"04 ■レーン3／松本(関学A)○着順2○2000m:8'06"59 ■レーン4／松若(広島)○着順4○2000m:8'37"76 ▶準決勝 ■レーン1／和田(愛媛C)○着順2○2000m:8'05"20 ■レーン2／万木(同志社D)○着順4→敗退2000m:8'21"58 ■レーン3／川崎(大阪市大B)○着順1○2000m:8'00"70 ■レーン4／南出(同志社A)○着順3→敗退○2000m:8'05"76

▶シングルスカル B (鈴木)

▶予選 ■レーン1／鈴木(同志社B)○着順3→敗復へ○2000m:8'37"64 ■レーン2／磯(大阪C)○着順1○2000m:8'14"60 ■レーン3／植垣(大阪市B)○着順2○2000m:8'19"95 ■レーン4／高木(徳島B)○着順4○2000m:10'33"04 ▶敗者復活 ■レーン1／田中(関学B)○着順2○2000m:8'09"76 ■レーン2／林(愛媛B)○着順3○2000m:8'13"55 ■レーン3／鈴木(同志社B)○着順1○2000m:7'53"79 ▶準決勝 ■レーン1／鈴木(同志社B)○着順3→敗退○2000m:8'20"22 ■レーン2／山崎(大阪E)○着順2○2000m:8'05"33 ■レーン3／加藤(神戸A)○着順1○2000m:7'52"87 ■レーン4／城戸(大阪D)○着順4○2000m:8'22"29

▶シングルスカル D (万木)

▶予選 ■レーン1／上原(徳島A)○着順3○2000m:8'49"68 ■レーン2／中野(追手門N)○着順2○2000m:8'17"17 ■レーン3／近藤(神戸B)○棄権 ■レーン4／万木(同志社D)○着順1→準決勝へ○2000m:8'12"67 ▶準決勝 ■レーン1／和田(愛媛C)○着順2○2000m:8'05"20 ■レーン2／万木(同志社D)○着順4→敗退○2000m:8'21"58 ■レーン3／川崎(大阪市大B)○着順1○2000m:8'00"70 ■レーン4／南出(同志社A)○着順3→敗退○2000m:8'05"76

▶ダブルスカル A S 植垣聰志 (文情2) B 徳田直也 (法2)

▶予選 ■レーン1／甲南大学A○着順4○2000m:8'06"61 ■レーン2／山口大学C○着順2○2000m:7'35"16 ■レーン3／同志社大学A○着順3→敗復へ○2000m:7'36"21 ■レーン4／茨城大学B○着順1○2000m:7'30"86 ▶敗者復活 ■レーン1／神戸大学○着順3○2000m:8'14"28 ■レーン2／同志社大学A○着順1→準決勝へ○2000m:7'36"84 ■レーン3／大阪市立大学「青白」○着順2○2000m:7'56"63 ▶準決勝 ■レーン1／同志社大学A○着順2→準決勝へ○2000m:7'24"86 ■レーン2／龍谷大学A○着順3○2000m:7'31"84 ■レーン3／大阪市立大学GII○着順1○2000m:7'13"11 ■レーン4／茨城大学A○着順4○2000m:7'32"43 ▶順位決定戦 ■レーン1／同志社大学A○着順2→6位○2000m:7'11"93 ■レーン2／龍谷大学B○着順3○2000m:7'13"69 ■レーン3／大阪市立大学「暁」○着順4○2000m:7'13"89 ■レーン4／兵庫大学○着順1○2000m:7'08"48

▶ダブルスカル B S 君和田剛大 (経1) B 佐藤拓郎 (社1)

▶予選 ■レーン1／同志社大学B○着順3→敗復へ○2000m:8'17"10 ■レーン2／鳥取大学B○着順2○2000m:8'06"51 ■レーン3／大阪大学A○着順1○2000m:7'56"13 ▶敗者復活 ■レーン1／同志社大学B○着順3→敗退○2000m:8'11"82 ■レーン2／滋賀医科大学「AERIAL」○着順1○2000m:7'41"38 ■レーン3／愛媛大学○着順2○2000m:7'56"44

▶舵手付きフォア C 池本雅基 (スポーツ健2) S 加藤駿 (経4) ③ 日比野聖司 (政1) ② 太田圭祐 (法1) B 丸尾拓也 (社1)

▶予選 B組 ■レーン1／大阪大学「八雲」○着順2○2000m:7'20"14 ■レーン2／同志社大学○着順3→敗復へ○2000m:7'29"20 ■レーン3／茨城大学○着順1○2000m:7'19"85 ■レーン4／滋賀医科大学「希望VJ」○着順4○2000m:8'17"50 ▶敗者復活 ■レーン1／滋賀医科大学「希望VJ」○着順3○2000m:8'32"81 ■レーン2／追手門学院大学○着順2○2000m:8'21"22 ■レーン3／同志社大学○着順1→準決勝へ○2000m:7'56"21 ▶準決勝 ■レーン1／同志社大学○着順2→決勝へ○2000m:7'28"22 ■レーン2／大阪大学「八雲」○着順3○2000m:7'30"90 ■レーン3／京都大学○着順1○2000m:7'17"16 ■レーン4／鳥取大学「疾風」○着順4○2000m:8'02"67 ▶決勝戦 ■レーン1／同志社大学○着順4→4位○2000m:7'16"60 ■レーン2／茨城大学○着順3○2000m:7'08"36 ■レーン3／滋賀大学経済学部○着順2○2000m:7'00"12 ■レーン4／京都大学○着順1○2000m:6'56"79

寺万商店

大津市瀬田 2-2-3

TEL:077-545-0006



〒520-0831 大津市松原町6-10 TEL:077-533-1223

チャリティーレガッタ

於:琵琶湖漕艇場

▶エイト C 中田幸祐 (経3) S 鈴木直道 (理工3) ⑦ 植田義之 (商4) ⑥ 畑田聖 (文情4) ⑤ 潤雄樹 (スポーツ健2) ④ 植垣聰志 (文情2) ③ 徳田直也 (法2) ② 加藤駿 (経4) B 南出貴裕 (経3)

▶予選 ■レーン2／滋賀大学経済学部○着順3○1000m:3'09"95 ■レーン3／京都大学○着順1○1000m:3'00"03 ■レーン4／龍谷大学○着順4○1000m:3'14"68 ■レーン5／同志社大学○着順4→決勝Aへ○1000m:3'04"37 ▶決勝A ■レーン1／同志社大学○着順6→6位○1000m:3'08"23 ■レーン2／大阪市立大学○着順5○1000m:3'03"93 ■レーン3／京都大学○着順3○1000m:2'56"31 ■レーン4／トヨタ紡織○着順1○1000m:2'52"97 ■レーン5／立命館大学○着順2○1000m:2'54"90 ■レーン6／京都大学A○着順4○1000m:3'01"62

▶ダブルスカル S 木暮恭介 (理工2) B 中村康治郎 (商4)

▶予選 ■レーン1／立命館大学○着順2○1000m:3'23"99 ■レーン2／龍谷大学A○着順1○1000m:3'18"65 ■レーン3／京都大学A○着順4○1000m:3'34"72 ■レーン4／京都大学・医学部B○着順5○1000m:3'52"03 ■レーン5／東レ滋賀○棄権○1000m:3'51"43 ■レーン6／同志社大学○着順3○1000m:3'28"20 ▶決勝B ■レーン1／兵庫大学○着順3○1000m:3'33"56 ■レーン2／神戸大学○着順5○1000m:3'40"32 ■レーン3／京都大学○着順2○1000m:3'32"69 ■レーン4／同志社大学○着順1○1000m:3'28"26 ■レーン5／広島大学A○着順6○1000m:3'43"65 ■レーン6／大阪市立大学A○着順4○1000m:3'36"40

関西学生新人レガッタ

於:大阪府立漕艇センター

▶舵手付きフォア A C 中田幸祐 (経3) S 植田義之 (商4) ③ 君和田剛大 (経1) ② 下館智哉 (商1) B 丸尾拓也 (社1)

▶予選 ■レーン2／同志社大学A○着順3○タイム:2'21"28 ■レーン3／細マッチョ○着順2○タイム:2'13"17 ■レーン4／滋賀大学経済学部C○着順4○タイム:2'39"62 ■レーン4／ピート京大○着順1○タイム:2'08"87 ▶敗者復活 ■レーン3／同志社大学A○着順1→準々決勝へ○タイム:2'16"96 ■レーン4／滋賀大学経済学部D○着順3○タイム:2'20"41 ■レーン5／甲南大学A○着順2○タイム:2'37"23 ▶準々決勝(悪天候のため中止) ■レーン2／同志社大学A ■レーン3／バスガス爆発(大工大) ■レーン4／GOING STARS(京都大学) ■レーン5／滋賀医科大学

▶舵手付きフォア B C 池本雅基 (スポーツ健2) S 佐藤拓郎 (社1) ③ 日比野聖司 (政1) ② 太田圭祐 (法1) B 南出貴裕 (経3)

▶予選 ■レーン3／関西大学D○放棄 ■レーン4／東京特許許可局○着順2○タイム:2'23"00 ■レーン5／同志社大学○着順1→準々決勝へ○タイム:2'12"80 ▶準々決勝(悪天候のため中止) ■レーン2／近畿大学A ■レーン3／同志社大学B ■レーン4／大阪大学C ■レーン5／大阪市立大学MA

▶舵手なしペア S 中村康治郎 (商4) B 徳田直也 (法2)

▶予選 ■レーン6／岐阜経済大学B○放棄 ■レーン7／同志社大学○着順1→決勝へ○1000m:3'59"11○2000m:8'04"43 ■レーン8／広島大学○着順3○1000m:4'11"43○2000m:8'44"22 ■レーン9／大阪府立大学○着順4○1000m:4'28"70○2000m:9'24"05 ■レーン10／島根大学○着順2○1000m:3'55"64○2000m:8'09"36 ▶決勝 ■レーン6／SEAGYLL(大工大)○着順5○1000m:4'03"60○2000m:8'16"17 ■レーン2／同志社大学○着順2→2位○1000m:3'46"75○2000m:7'35"48 ■レーン7／龍谷大学○着順1○1000m:3'41"65○2000m:7'28"28 ■レーン8／岐阜経済大学A○着順3○1000m:3'48"99○2000m:7'36"98 ■レーン9／島根大学○着順4○1000m:3'47"09○2000m:7'55"58 ■レーン10／近畿大学○着順6○1000m:3'57"57○2000m:8'20"98

京都レガッタ

於:琵琶湖漕艇場

▶シングルスカル (南出)

▶予選 ■レーン2／矢野(松山大学)○着順3○1000m:3'42"92 ■レーン3／南出(同志社大学)○着順2→準決勝へ○1000m:3'42"47 ■レーン4／広島大学○着順3○1000m:3'40"58 ■レーン5／中島(京都大学)○棄権○ ■レーン6／井家(滋賀大学教育)○棄権 ▶準決勝 ■レーン2／井出(今治造船)○着順3○1000m:3'33"83 ■レーン3／井原(瀬田漕艇C)○着順4○1000m:3'48"07 ■レーン4／黒瀧(京都大学)○着順1○1000m:3'31"36 ■レーン5／南出(同志社A)○着順2○1000m:3'32"74 ■レーン6／大倉(京都大学)○着順5○1000m:3'49"70 ▶決勝 ■レーン1／矢野(松山大学)○着順3○1000m:3'36"24 ■レーン2／別府(今治造船)○着順1○1000m:3'28"71 ■レーン3／南出(同志社大学)○着順6→総合6位○1000m:3'44"21 ■レーン4／黒瀧(京都大学)○着順4○1000m:3'36"54 ■レーン5／成瀬(瀬田漕艇CN)○着順1○1000m:3'29"16 ■レーン6／中崎(龍谷大学)○着順5○1000m:3'39"05

▶シングルスカル (鈴木)

▶予選 ■レーン2／鈴木(同志社大学)○着順3→準決勝へ○1000m:3'50"82 ■レーン3／篠原(今治造船)○棄権○1000m:8'09"97 ■レーン4／黒瀧(京都大学)○着順1○1000m:3'33"97 ■レーン5／中崎(龍谷大)○着順2○1000m:3'35"12 ■レーン6／鳴田(京都大学)○着順4○1000m:3'51"45 ▶準決勝 ■レーン2／鈴木(同志社大学)○敗退○1000m:3'51"71 ■レーン3／福住(龍谷大学)○着順3○1000m:3'45"38 ■レーン4／成瀬(瀬田漕艇RN)○着順1○1000m:3'33"10 ■レーン5／矢野(松山大学)○着順2○1000m:3'35"70 ■レーン6／芥野(滋賀大学経済)○着順5○1000m:3'59"02

『力漕』は協賛広告を募集しています。

**CREATION
TO BE HAPPY!**

1/2 はコミュニケーションを大切にし、柔軟なスタンスでお客様のニーズにお応えします。
皆様の“テイスト:趣向”を理解し、“クリエイティブスピリット:豊かな創造力”を最大限に活かして
関わる人すべてがHappyになる。これから松たかTasteの使命です。

1/4

1/9

▶広告計画 ▶販売促進 ▶クリエイティブワークス

Taste
FULL OF CREATIVE SPIRITS
株式会社 テイスト ■ 広告・
〒604-8464 京都市中京区南円町84 クリエイティブオフィス
[東京オフィス] 〒112-0013 東京都千代田区大手町1-17-11 花和ビル308号
[福岡クリエイティブ] 〒810-0041 福岡市中央区大名2-4-22 新日本ビル9F
[朱雀営業所] 〒604-8475 京都市伏見区西ノ京中御門西町26番地

1/18 問い合せはお気軽に Tel.075-812-4459
■ 営業時間／9:00～20:00 休日／土・日・祝 Fax.075-811-5258
東京オフィス Tel.03-5940-5257/Fax.03-5940-5258
福岡クリエイティブ Tel.092-404-7876/Fax.092-404-6526
朱雀営業所 Tel.075-812-5011

編集後記

この度、こうして無事に部報『力漕』19号が形となり、皆様のお手元に届きましたことに、胸をなで下ろしております。

思い返せば、『力漕』を発刊するにあたり、苦労することや、悩むことがあります。

今回は、フルリニューアルということで、皆様からお写真を集め直したり、インタビューにお伺いしたり、カラー広告を用意したりと、新しい事ばかりでした。朝方まで、原稿作成に取り掛かった日もありました。

しかし、心の中にはいつも、この『力漕』と共に、皆様に対する感謝の念をお伝えしたいという気持ちがありました。

こうして、無事に『力漕』を発刊出来ましたのも、多くの方々のお力添えがあってこそだと感じております。『力漕』フルリニューアルをご提案下さり、全面的にサポートして下さった武田監督をはじめ、時には厳しいお言葉を下さりながらも、いつもボート部のために、『力漕』のためにご尽力下さった大沼先輩、お忙しい中、インタビューにご協力下さった新井会長や、阿江幹事長、寄稿文を執筆して下さった他大学の皆様、岡本部長、目方元監督、瀬川元コーチ、広告掲載にご協力頂いた地元商店やOB・OG企業の皆様、そして諸先輩方、多くの方々のご協力を得て、今、皆様のお手元に『力漕』があるのだと思います。

この場をお借りしまして、厚く御礼申し上げます。

まもなくシーズンが始まり、ボートの季節を迎えます。ボート部員一同、全力で頑張りますので、温かいご声援のほど、宜しくお願い致します。

新4回生 広報 高橋美帆

この度、大変多くの方々のご協力を頂きまして、同志社大学ボート部の部報『力漕』第19号を無事に発行できましたことを御礼申し上げます。

私は、今年度から広報として初めて『力漕』の編集を務めさせて頂きました。

何もかもが初めての経験で、上手くいかず、戸惑いましたが、多くのOBの方やOGの方のご協力のおかげで、こうして無事に『力漕』を形にすることが出来ました。初めて編集をさせていただく私に、優しくご指導して下さい、ご声援して下さった多くの方々の温かいお気持ちを感じることが出来ました。

最後になりましたが、発刊に際しまして、多大なるご支援・ご協力下さいました諸先輩方、各企業の方々、地元商店の皆様に、心より御礼申し上げます。

今後とも、同志社大学ボート部に変わらぬ温かいご声援の程、宜しくお願い致します。

新2回生 広報 三島奈々



同志社大学ボート部 公式ホームページ
<http://www.dubc.jp/>

※是非一度ご覧下さい!



同志社大学ボート部 Facebookグループ

※是非一度ご覧下さい!

同志社大学ボート部 部報「力漕」Vol.19
2012年4月22日発行

発行者 同志社大学ボート部
〒520-2134 滋賀県大津市瀬田3丁目2-30
TEL: 077-545-0702 / FAX: 077-543-1194
MAIL: dubc@skyblue.ocn.ne.jp

協賛広告募集中!!

年中受付、お問い合わせは左記までお願いします。

広告費掲載料振込先
滋賀銀行 濑田支店 普通預金口座番号 474219
代表 高橋美帆



厚生大臣賞受賞店

奇新

自然飼育のかしわ
鶏肉店

〒520-2132
大津市神領3丁目5-14
TEL:0775-45-2431
FAX:0775-45-8028

近江松崎屋牛

松崎屋

明治初期、
全国に近江牛の名を
広めた老舗

TEL:077-534-1211 TEL:077-537-6201

カフェ・レストラン アドリア

湖岸道路唐橋下ル TEL:077-537-3355

料亭
あみ定

TEL:077-537-1780
FAX:077-537-1791
<http://amisada.jp>

〒520-0851 大津市唐橋町23-1 [瀬田唐橋中の島南側]

セブン-イレブン

大津瀬田西インター店

〒520-2134 滋賀県大津市瀬田3丁目24-6 TEL:077-543-8823

未来型、法律事務所。それが私たちの視点。

丸山法律事務所

丸山 英敏

TEL:06-6365-6188 FAX:06-6365-5338

〒530-0047 大阪市北区西天満 2-10-2 幸田ビル 10階 1006号室

www.maruyama-law.com